

和久正  
辰海

西史學要

卷七

福岡第一師範學校  
(學校圖書)

登錄番	第	號
		門
北ア州九州文		部
丁次合衆國	總記	項
車彙	年表	次
全	冊/內第	冊
分類番	第	號
253.038		

T 1A1  
24  
W 35

西史要卷七

米國 烏斯多爾 原撰

日本 和久正辰 譯述

第五章 解兵ノ舉 國憲ノ制定

ワ  
シントンノ主治 アダムス

ノ主治 即チ紀元後千七百

八十三年ヨリ千八百一年ニ

至ル

(一) 米軍ヲ解散スルニ當リ兵士ニ殘俸ヲ支給  
スルノ難キヨリ更ニ一大難事ヲ生セリ是ヨリ

ヨリ榮辱ヲ知リ人權ヲ重シ併セテ北亞聯邦  
ハ兵制及ヒ國體ヲ詳ニスル者ナリ世間モシ内  
亂ハ開門ヲ開キテ將ニ隆興セントスルハ邦國  
ヲシテ鮮血沉濫ハ中ニ泯没セシメントスル者  
アルモ斷シテ其惡例ニ倣フ勿レト

(四) 從來將士ノワシントニヲ尊敬スル已ニ辱  
シ故ニ其言フ所決然トシテ自ラ威重アリリシ  
ントンノ演說ヲ畢ルヤ皆ナ敬拜シテ其恩ヲ謝  
シ且ツ將來誓テ公會及ヒ國人ノ公義ヲ信スヘ  
キヲ斷言ス是時一當テ國庫已ニ虚シク國會マ

々徵金實施ノ權ナシト雖氏敢テ殘俸漸償ノ方  
案ヲ定メ且ツ令ヲ發シテ曰ク武官ハ革命後更  
ニ五年間ハ加俸ヲ受ク可ク兵卒ハ定俸ハ外ニ  
各八十弗ヲ得ヘシト

(五) 十一月五日ヲ以テ解兵ノ期ト為ス其前日  
ワシントン別ヲ兵卒ニ告ケ併セテ將來ヲ誠メ  
永康ヲ祈ル其言懇到ナリ聞クモノ感動ス既ニ  
シテ又々將士ト訣別シアナホリスニ至リ  
公會議長ニ向テ兵馬ノ任ヲ還付シ且ツ之ニ謂  
テ曰ク任已ニ畢レリト終ニモウントベルノン

田盛一達、自ら耕耘に従事ス、閭閻舉テ其恩  
ニ感泣シ、天下仰、其徳ヲ讃ス

(六) 役畢テ各州始メテ其堵ニ安ンスルニ至レ  
リト雖、氏政體素ト聯盟條規ニ成ルヲ以テ政權  
自ラ振ハス一旦事アルノ日決行變ニ應スル能  
ハス公會ノ權全ク有名無實ニ歸シ已ニ巨額ノ  
公債ヲ徵スルモ未タ其元利ヲ償却スルノ備ア  
ラサルノミナラス曾テ一定ノ歳入ナキヲ以テ  
紙幣ノ價格殆ント地ニ墜テ俸券マタ價ナキニ  
幾シ國人ソノ償還ノ成否ヲ危疑スル甚シキヲ

以テナリ

(七) 國勢斯クノ如クナルヲ以テ軍人受ル所ノ  
俸券其價漸ク低落シテ六分一乃至八分一ニ至  
ル故ニ其嘗テ艱難ヲ冒シ凍餓ニ堪ヘ敢戰以テ  
國ニ報ヒタルノ烈士モ竟ニ俸券ヲ賣テ家族ノ  
窮乏ヲ救ハサルヲ得サルニ至レリ蓋シ公會ニ  
於テ厚俸以テ其功ニ酬ヒシヲ確言スル再三  
嘗ナラスト雖、氏遂ニ其實ヲ果ス能ハサルヲ以  
テナリ

(八) 是ニ於テ國人終ニ一大政府ヲ立テ更ニ其

職權ヲ擴充スルノ急務ナルヲ知リ、ビルジニア州會ノ發議ニ從ヒ、千七百八十六年ヲ以テ各州ノ委員ヲアンナポリスニ會シ、通商概則ヲ定メントス。然ルニ其權域ノ狹隘ニシテ、其竟見ヲ完達ス可カラサルヲ悟リ、各州ヲシテ一層權限ノ廣大ナル代議士ヲ出サシメ、明年ヲ斯シヒラデルヒアニ會セン。トテ約ス。

(九) 乃チ千七百八十七年五月ヲ以テ各州ノ代議士ヒラデルヒアニ會シ、將軍ワシントンヲ推シテ之カ議長ト為ス。ワシントンハビルヂニア

撰舉ノ一議負ナリ。討議四月ヲ經テ衆議一決シ、聯盟國憲成ル。實ニ九月十七日ナリ。已ニシテ之ヲ國會ニ呈シ、國會マタ之ヲ各州ニ付シテ審察セシム。千七百八十八年聯盟會負十一人ノ確認ヲ得テ之ヲ北亞聯邦ノ國憲ト為ス。ノルフ、カロリナ、千七百八十九年ニ至リ、ロード、イストランド、千七百九十年ヲ以テ各之ニ從フ。當時ソノ意見ヲ異ニセルヲ以テナリ。

(十) 國憲ニ遵ヒ各州ヨリ其代議士ヲ撰任シテ之ヲ國會ニ出シ、衆議ヲシントンヲ推シテ初任

大統領ト為スワシントン固ヨリ其旧盧ヲ去ル  
ヲ好マスト雖凡衆望ノ歸スル所奈何トモス可  
カラス乃チモウントベルノンヲ去テ家事ヲ擲  
テ閑樂ヲ廢シ直ニニウヨークニ至リ國會ニ臨  
ム群衆途ニ之ヲ迎ヘ呼テ國祖ト為シ凱門ヲ建  
テ以テ其偉功ヲ彰表ス老婦ハ聲ヲ齊フシテ其  
幸福ヲ祈リ少女ハ草花ヲ散シテ祝意ヲ表シ且  
ツ其子孫ノ權利ヲ保護スル猶ホ其父母ノ權利  
ヲ守防セルカ如クナランコトヲ期望セリ

(土)

ワシントン 四月三十日ヲ以テ就任ノ大禮

ヲニウヨークノ府館ニ行ヒ北亞聯邦ノ大統領  
ト為リ誓ヲ發ス觀衆雲雨雷ナラス其嚴肅ナル  
米國未曾有ノ盛況ヲ呈セリ蓋シ事重ク儀新ニ  
シテワシントンノ舉止自ラ威風ヲ具ヘ誠意神  
ヲ敬スルノ狀人ヲシテ感激セシメタルヲ以テ  
ナリ

(土)

新政府已ニ立テワシントン之カ主管タリ

國人ノ喜悦前古比ナシワシントンノ治ヲ施ス  
ヤ内外之ヲ仰ク蓋シ聰明ニシテ賢ヲ舉ケ大度  
ニシテ説ヲ容レ以テ能ク其身ヲ處スルノ才幹

アルヲ以テナリジヨン、アダムス同時ニ副統領ニ任スアダムスマタ是國革命ノ一功士ナリ而シテトーマスジエツフエルソンハ國務尚書ニアレキサンドル、ハミルトンハ財務尚書ニヘンリー、ノクスハ軍務尚書ニエドモンド、ランドルフハ大狀師ニサミウル、オスグードハ郵務總裁ニジヨン、ゼーハ按察司ニ各其職ニ任シ以テ新政府ヲ組織ス

(三) ワシントン以下輔官ノ治ヲ施スヤ新政府ノ恩波忽テ民間ニ洽ク漸ク公衆ノ信憑ヲ復シ

貿易隨テ隆興ス公債ノ元資已ニ備ハリ其價即チ一ニ歸ス是ニ於テ國步艱難氣運衰頹ノ北亞聯邦モ遽ニ興テ其昌盛ヲ極ムルニ至レリ

(五) 千七百九十年オハイオ河北ノ土蕃亂ヲ作シ將軍ハトメルヲ破ル明年マタシント、クライルヲ走ラス將軍ワイン都督ノ任ヲ繼キ大ニ之ヲ破リ千七百九十五年和ヲグリーンビルニ講ス

(五) 土蕃ノ亂未タ平定セサルニ當テ歐洲マタ變亂アリ是國更ニ一難事ヲ生ス佛國ノ革命已

ニ其端ヲ發キ闔國ノ人民主政ノ苛虐ニ苦ミ援  
ヲ米國ニ求ム國人奮テ之ヲ救ハント欲シ殆ト  
將ニ英國ト隙ヲ生セントスルニ至レリト雖  
ワシントンノ政略一ニ中立ヲ主トシ事茲ニ及  
ハサルモ敢テ抗論スル者アリ是ニ於テ國中始  
メテ二派ノ政黨ヲ生シ其軌轢益甚シキヲ加フ  
(共) ワシントン衆望ノ歸スル所推サレテ大統  
領ニ任スル前後二回治ヲ施シ國ヲ益スル少シ  
トセズ而シテ其將ニ第二ノ任期ヲ卒ヘントス  
ルニ臨テ別ヲ公衆ニ告ケ再撰ヲ辭ス之ヲ箴ム

ルニ政治上ノ格言ヲ以テシ愛國ノ至情自ラ言  
外ニ溢ル既ニシテ任滿ルノ後ヲ再ヒモウント  
ベルノンノ旧廬ニ歸耕ス千七百九十七年シヨ  
ン、アダムス其任ヲ繼ク  
(七) アダムス職ニ在ルノ日佛國ノ新政府北亞  
聯邦ノ英國ヲ擊タサルヲ忿リ終ニ兵ヲ構フ米  
國政府乃チ守備ヲ嚴ニシ之ニ應セントス乃チ  
海軍ヲ増加シ陸兵ヲ新募シ將軍ワシントンヲ  
以テ之カ元帥ト為ス後チ數月ヲ出テス佛國ノ  
新政府竟ニ轉覆シ彼我互ニ和ヲ講スルニ至ル



(六) ワシントンノ元帥ニ任スルヤ幾モオク暴ニモウントブルノンニ死ス實ニ千七百九十九年十二月十四日ナリ享年六十八ワシントンハ用兵ニ老ヒ政治ニ長シ赤心國ヲ憂ヒ功ヲ是國ニ立ツルノ士ナリ國人其死ヲ聞テ慟哭ス國會ノ勸諭ニ從ヒ三十日間左手ニ縀紗ヲ纏ヒ以テ哀ヲ表ス闔國到ル處祭ヲ行ヒ德ヲ讚シ國祖ノ死ヲ悼ム其至情斯クノ如シ

(七) 是ヨリ數年間政黨相轉テ國內大ニ動ク當初聯盟國憲ヲ定ムルヤ之ヲ是トスル者ヲ聯盟

黨ト名ケ之ニ反スル者ヲ非聯盟黨ト曰フ後チ之ヲ汎稱シテ聯盟黨及ヒ民政黨ト名ク民政黨ハ共和黨ノ名アリ内政外交彼此ソノ説ヲ異ニス聯盟黨ハ共和黨ノ佛國ニ私アルヲ責メ共和黨ハ聯盟黨ノ英國ニ黨スルヲ非トス千七百九十四年ゼー英國ト約ヲ締ヒ通商ノ道ヲ開ク共和黨奮激措カス大ニ其非ヲ鳴ラシ兩黨ノ罅隙益甚シ

(八) アダムスノ治ヲ施スヤ外交内政共ニ民心ヲ激スルモノ多シ就中常備兵ヲ募リ直税ヲ課

シ及ヒ外人并ニ反徒律ヲ定メタルカ如キ殊ニ其甚シキモノナリ千八百一年官海變革アリ其治黨多數ヲ占メ其候補トーマスゼツフェルソンヲ推シテ大統領ノ職ニ陞メアダムスヲ黜ク

### 第六章

ゼツフェルソンノ主治

ゲソンノ主治 英國ト戦フ

モシローノ主治 アダム

スノ主治 即チ紀元後千八

百一年ヨリ千八百二十九年

ニ至ル

### (一)

ゼツフェルソン職ニ在ルノ日ソノ第一ノ

任期ニ於テ一千五百萬弗ヲ以テ佛國所屬ノ口

イシアナヲ買ヒ之ヲ北亞聯邦ニ加フ是レ其事

跡ノ著大ナルモノナリ其地境域甚タ廣シ千六

百九十九年始メテ佛人ノ開ク所ナリ千七百六

十二年佛國之ヲ西班牙ニ交付シ千八百年ニ至

リ西班牙終ニ復タ之ヲ佛國ニ還付ス

### (二)

ゼツフェルソンノ大統領ニ任スルヤ當時

國勢隆盛ヲ極メ其第一任期ノ末ニ至ルマテ猶

ホ之ヲ維持ス嚮ニアダムスノ職ニ在ルヤ二大

政黨ノ争アリ國中大ニ動ク是時ニ當テ其争未  
タ全ク息マスト雖モゼツフエルソソノ羽翼タ  
ル共治黨ノ勢力大ニ加ハリ全黨幾ント一意シ  
テ遂ニ之ヲ再撰ス

(三) 英佛兵ヲ交ユ日己ニ久シ歐洲列國大抵ミ  
ナ之ニ與カラサルナシ米國泰然トシテ中立ヲ  
守リ静ニ交戦諸國ト貿易ヲ行フ而シテ其區域  
愈大ナレハ其利益愈多シト雖モ交戦諸國ニ於  
テハ益之ヲシテ狹隘ナラシメントスルノ傾向  
アリ

(四) 千八百六年五月英國政府天下ニ公告シテ  
日耳曼ノエルブ河ヨリ佛國ノブレスト至ルマ  
テ盡ク其港灣河口ヲ封鎖シ若シ米國船舶ノ之  
ト貿易スルモノアレハ則チ劫掠シテ其罪ヲ責  
メントス此年十一月佛帝伯林令ヲ發シ英國ヲ  
封鎖シテ悉ク其交通ヲ禁ス千八百七年十一月  
ニ至リ尋テ英國決議令ノ發行アリ九ツ中立國  
ノ船舶ニシテ佛國ト通商スルモノハ必ス英港  
ニ碇泊シテ納稅セシム是ニ於テ同年十二月ボ  
ナバルテ美蘭令ヲ發シ何レノ船舶ヲ問ハス英

國ノ檢査ニ屈シテ出税スル者ハ盡ク之ヲ掠奪セシム

(五) 同月〔原〕千八百七  
年十二月ゼソフエルソンノ勸諭ニヨリ國會ニ於テ盡ク其船舶ノ出港ヲ禁シ以テ英佛兩國ノ政略ニ應シ併セテ北亞聯邦ノ守備ヲ嚴ニス是ニ於テ外國通商ノ道全ク絶ヘ國人ノ困弊却テ甚シク民間漸ク怨言アリ千八百九年三月終ニ其禁ヲ解キ之ニ代ユルニ英佛ト交通ヲ絶ツヲ以テス

(六) 物情猶ホ斯クノ如クナルニ當テ英佛兩國更ニ北亞聯邦ノ貿易ヲ妨害シ以テ戰ヲ挑ムノミナラス終ニ英國ハ米國ノ佛國ニ私アルヲ責メ佛國ハ米國ノ英國ニ屈シテ其凌辱ヲ甘受スルヲ誹ルニ至ル

(七) 英國ノ北亞聯邦ヲ凌辱スル特ニ甚シ國人大ニ奮激ス英國ノ軍艦縱ニ米船ノ水手ヲ拿ハ強テ之ヲ役ス英米二國固ト其語ヲ同フス故ニ之ヲ辨別シ難シト雖氏英國ノ武官ハ萬險ヲ冒シテ兵員ヲ得ルニ汲々タルヲ以テ敢テ其別ヲ為スカメス若シ其水手ヲ獲レハ之ヲ英國ノ

海軍ニ役シ以テ其戰ニ從事セシム

(八) 然ルニ英人ソノ水手ノ脱走シテ米船ニ入ルヲ怨ミ敢テ之ヲ搜查ス蓋シ米人竊ニ之ヲ勸誘シテ隱匿セシメタルヲ以テナリ是レ多年慣行ノ惡習ナリト雖其ノ米人ヲ困シムル勝テ言フ可カラサルナリ米人乃チ大ニ激シ相告テ曰ク英國往々海軍ハ將校ヲシテ名ヲ此搜查ニ托シ我カ水手ヲシテ英艦ニ挿入セシム其殘忍ナル至ラサル所ナシト

(九) 是ヨリ先キ英國ノ水手ヲ搜查スルノ弊習

ハ獨リ私船ニ及フノミナリシト雖其千八百七年ニ至リ四人ノ水手英艦ヨリ脱シ米艦(チエサピーキ)號ニ入ル此レ水師提督バルロンノ帥ユル所ニシテ三十六砲ヲ載ス英艦(レオパルド)號巨礮五十門ヲ備フ艦長ハンプレートス海軍大將バルケレーノ訓令ヲ奉シ(チエサヒーキ)號ヲ追テビルヂニアノ海嘴ヲ過キ其脱徒ヲ要求スルノ後チ片面齊發シテ死傷二十餘人ニ至ラシム是ニ於テ(チエサヒーキ)號艦旗ヲ下シ水手四人ヲ交付ス

西史要略 卷之六  
(十) 國人之ヲ聞テ切齒セサルナシ從來英人ノ  
米國ヲ侮辱スル一ニシテ足ラス故ニ皆以テ開  
戰ヲ公告スルノ理アルヲ昭然掩フ可カラスト  
為ス大統領乃チ令ヲ發シ英國ノ軍艦ヲシテ盡  
ク北亞聯邦ノ沿海ヲ去ラシメ兼テ國人ノ之ト  
交通スルヲ禁ス英國政府敢テ〔チエサピ〕キ〕號  
ノ砲撃ヲ承認セスト雖氏時機已ニ去リ以テ米  
國政府ヲシテ其意ニ滿タシムル能ハス  
(十一) 千八百九年ゼツフエルソン再撰ヲ辭シゼ  
ームスマダソン其任ヲ紹ク施治概子ゼツフエ

ルソンノ旧ニ依ル就職ノ初メ先ツ英國公使エ  
ルスキント議ヲ開キ米國政府ヲシテ更ニ英國  
ト通商セシムルニ至ラシメタリト雖氏後チ英  
國コノ調停ニ從ハスジヤクソンエルスキンノ  
職ヲ繼キ米國ニ來リテ事ヲ議スルニ當リ其語  
氣侮慢ニ涉ル所アリタルヲ以テ大統領乃チ其  
議ヲ止ム是時會米艦〔アレシデント〕號英艦〔リツ  
トルベルト〕號ト鬪ト不幸ニシテ兩國ノ釁隙益  
甚シキヲ加フ  
(十二) 英米ノ釁隙愈甚シ是ニ於テ國會乃チ其期

ヲ延シ千八百十二年五月二十五日ヲ以テ議ヲ  
開ク六月一日ニ至リ大統領國會ニ傳諭シテ開  
戰ヲ公告セシム蓋シ英人強テ米國ノ水手ヲ驅  
役シ縱ニ其敵國ノ港口ヲ封鎖シタルノミナラ  
ス彼ノ議決令ヲ發シ且ツ土蕃ヲ啖シテ叛起セ  
シメタルノ疑跡アリタルヲ以テナリ

(三) 開戰公告ノ議案四十九票ニ對スル七十九  
票ノ多數ヲ以テ代議院ノ決議スル所ト為リ元  
老院ニ於テハ十三票ニ對スル十九票ノ多數ヲ  
以テ決議シ明日即チ六月十八日大統領之ニ鈐

卯ス既ニシテ開戰ヲ公告スルノ後チ五日ヲ經  
テ英國決議令ヲ廢棄ス伯林令及ヒ美蘭令ノ革  
除アリタルヲ以テナリ

(四) 國會議員中少數ノ開戰公告ヲ非トスル者  
アリ是レ其止ムヲ得サルニ出テサルノミナラ  
ス策ノ得タルモノニアラスト認ムルヲ以テナ  
リ且ツ說ヲ作シテ曰ク佛人ハ侵害ハ之ヲ英人  
ハ所為ニ比スレハ更ニ甚シキモハアリト相率  
テ開戰ノ政略ニ抗ス國人大半マタ其意見ヲ同  
フス故ニ交戰自ラ活潑ナル能ハス

西史要略 卷之七  
(五) 是ヨリ先キ開戦ノ得失ヲ議スル久シキヲ  
經タリト雖氏已ニ其端ヲ發クニ及テ米國政府  
ノ戰備ヲ為ス大ニ欠クル所アリ是ヲ以テ其第  
一年ニ於テハ米軍陸戰咸ク敗ル

(六) 七月十二日將軍ホーブル兵二千余人ヲ督シ  
テカナダヲ伐チ八月十六日全軍竟ニ英兵ニ降  
ル十一月將軍バンレンセルル再ヒ其地ヲ伐  
タント欲シ兵一千人許ヲ帥ヒ十一月ヲ以テナ  
イアガラ河ヲ濟リ英兵ヲタイーンストウンニ  
襲フ激戦一次ニシテ兵ヲ率テ竟ニ降ル英將ブ

ロツク之ニ死ス

(七) 米軍カナダニ在テ連戦大ニ敗レタリト雖  
氏海戦大ニ勝ツ八月艦長ホーブル米艦「コンスチ  
チューション」號ヲ督シテ英艦「ゴルリール」號ヲ  
奪ヒ十月艦長デカチュール米艦「ユナイテット  
ステートス」號ヲ將テ英艦「マセドニア」號ヲ取  
ル十一月英艦「フロリツク」號艦長ジョー子ス帥  
ユル所ノ米艦「ワस्प」號ニ獲ラル尋テ「ワस्प」號  
マタ英艦「ポイクチールス」號ノ奪フ所ト為ル十  
二月艦長バインブリツダ米艦「コンスチチュー



シヨシ號ヲ督シテ英艦(ジヤバ)號ヲ奪フ以上四  
戰英兵死傷四百二十三人米軍死傷僅ニ七十三  
人ニ過キス

(六) 千八百十三年英米兩軍迭ニ勝敗アリ一月  
將軍プロクトル英兵及ヒ土蕃ヲ率テ將軍ウイ  
ンチストル帥ユル所ノ米軍八百余人ヲフレ  
ンチトウンノライシン河畔ニ襲撃シ大ニ之ヲ破  
ル其僅ニ死セサルモノ五百余人降テ俘ト為リ  
概子土蕃ノ屠ル所ト為ル

(七) 四月將軍ピーキ米軍千七百ヲ督シテ上部

カナダノヨークヲ攻メ激闘數次遂ニ之ヲ拔キ  
許多ノ軍需ヲ壞ル將軍ピーキ米軍百余人ト共  
ニ地雷ノ爆發ニ遭テ竟ニ斃ル英軍死傷若クハ  
俘ト為ルモノ大約七百人參軍ドツドレー兵八  
百ヲ將テメイグス城ヲ發シ敵壘ヲ襲フテクム  
ス土蕃數百人ヲ率ヒ環擊以テ之ヲ破ル米軍死  
スルモノ太々衆シ

(八) 五月ジョーヂプレボスト英兵一千余人ヲ  
將テサツケツ港ヲ襲フ將軍グロウン米軍ヲ  
督シテ大ニ之ヲ破ル是ヨリ二日前將軍ボイド

及ビ參軍ミルレル米軍ヲ帥テカナダノジョー  
チ城ヲ拔ク英兵死傷若クハ俘ト為ルモノ幾シ  
ト一千人將軍ビンセントノ督スル所ナリ後チ  
幾モナク將軍カンドレル及ヒウインデル大兵  
ヲ率テ進軍シ城外ヲ距ル未タ遠カラス將軍ビ  
ンセント英兵ヲ督シ夜ニ乘シテ之ヲ襲ヒ二將  
ヲ虜ニス

(世) 此年九月水師提督ペルリー大ニ英國ノ水  
師ヲエリー湖ニ破ル英艦六艘六十三砲アリ米  
艦九艘巨礮五十六門ヲ備フ交戦三時間ニ及ヒ

最モ激烈ヲ極ム英艦概子破壊シ米軍ノ奪フ所  
ト為ル是ニ於テ米軍遂ニ全湖ヲ專有ス

(世) 後チ將軍ハルリソン其中軍ヲ米艦ニ搭載  
シテカナダノ岸頭ニ上陸シ十月ニ至リ將軍プ  
ロクトル帥ユル所ノ英兵ヲチームス河畔ニ破  
ル此役ヤ敵兵死スルモノ太タ多シ彼ノ有名ナ  
ル土蕃ノ酋長テクムス之ニ死ス然レ氏米軍後  
チ竟ニウイリアムスボルグニ敗ル

(世) 將軍ウイルキンソン及ヒハンムフトン大  
ニ戦備ヲ整ヘ將ニカナダヲ侵略セントス然リ

而シテ其成績一モ見ル可キモノナシニ將相容  
レス故ニ協力以テ功ヲ奏スル能ハス米軍カナ  
ダノニウアーク村ヲ燬ク英兵河ヲ濟リ小都ブ  
ツフハロー及ヒ數村ヲ焚キ以テ警ヲ報ス此年  
水師提督ユツクボルン英艦ヲ將テ大ニ南方諸  
州ヲ掠劫シ終ニチエサピーキ灣ノ濱岸ニ上陸  
ス然レモ竟ニノルフオルクノ込傍クテ子一嶋  
ニ敗ル

(苜) 此年英軍大ニ海戰ニ勝ツ復タ前年ノ比ニ  
アラス然リ而シテ米旗未タ汚辱ヲ受ケス米艦

米兵共ニ同數ヲ以テ之ヲ論スレハ未タ必スシ  
モ英艦英兵ニ劣ラサルナリ二月艦長ロウレン  
ス米艦(ホル子ツト)號ヲ帥テ英艦(ピーコツク)號  
ヲ奪フ六月艦長ブロツク英艦(サンノシ)號ヲ督  
シテ艦長ロウレンス將ユル所ノ(チエサピーキ)  
號ヲ取ル八月英艦(パリック)號(アルグス)號ヲ搶  
ヒ九月英艦(ボキセル)號(エンテルプライス)號ニ  
降ル

(萱) 千八百十四年カナダノ役交戰最モ激烈ヲ  
極ム七月二日將軍ブロウン米軍ヲ督シテエリ

西史要略 卷之七  
一城ヲ拔キ更ニ進テ將軍ドロモンド帥エル所  
ノ英兵ヲテツパワニ襲撃シ其五日兩軍奮闘シ  
テ米軍遂ニ之ニ勝ツ此月二十五日將軍ブロウ  
ン及ヒスコット米軍ヲ督シ將軍ドロエンド及  
ビライアル英兵ヲ帥ヒ大ニブリツデウオータ  
ーニ戰フ其慘狀更ニ甚シキモノアリ英軍力盡  
キテ竟ニ潰退ス死傷并ニ俘ト為ルモノ九百人  
許米軍マタ大ニ其カヲ失ヒエリー城ニ退ク後  
チ英軍之ヲ襲フテ克タス兵ヲ亡ス算ナシ是ヲ  
邊境大戰ノ終局トス

(其) ジョーグフレボスト援兵數百人ヲ得タリ  
此レ曩ニ西班牙ニ在テ公爵ウエルリントンノ  
督スル所ナリ是ニ於テ總軍一萬四千ヲ將テ來  
リ攻メ先ツプラツトボルグヲ圍ム水師提督ド  
ウニーマタ英國ノ海軍大砲九十五門水兵千五  
十人ヲ帥テチャンPLAIN湖ニ戰フ水軍元帥  
マクドノウ米國ノ艦隊巨砲八十六門兵負八百  
二十六ヲ督シテ咸ク之ヲ破ル此時ジョーグフ  
レボストプラツボルグノ諸塞ヲ襲フ將軍マコ  
ツブ米軍ヲ率ヒ撃テ之ヲ走ラス英兵死傷并ニ

遁走スルモノ總計二千五百人ニ至レリト雖氏  
米軍ノ死傷海陸ヲ併セ僅ニ二百三十八人

(芒) 八月英國ノ艦隊六十余艘チエサピーキ灣  
ニ至ル將軍ロツス兵五千余人ヲ帥テパトキセ  
ント河口ニ上陸ス其地ワシントンノ府城ヲ距  
ル大約四十英里ナリ是時ニ當テ將軍ウインド  
ル米國ノ郷勇ヲ率テブラツデンスボルグニ在  
リ敵軍一撃之ヲ破リ進テワシントンニ入ル火  
ヲ政堂及ヒ大統領ノ官第等ニ縱テ去ル途ニ一  
人ノ之ヲ逼遮スルナシ後チ十四日ヲ經テ將軍

ロツス及ヒ水師提督コツクボルン英軍七千余  
人ヲ帥テバルチモールヲ燬ク一二戰勝アリタ  
リト雖氏軍竟ニ敗レ將軍ロツス之ニ死ス

(共) 米國ノ水師旗勢大ニ振ヒ未タ少數若クハ  
同數ニ對シテ敗ヲ取ラスト雖氏米艦エツセツ  
キス號ハ英艦パーブ號及ヒセルグ號ノ奪フ所  
ト為リ米艦プレシデント號マタ敵艦ニ獲ラル  
殊ニセルグ號ハ其兵勢遙ニ勝ル所アリ然レモ  
英艦エパルビール號アボン號レインゲール號  
サイエン號レバント號及ヒペンガイン號ノ如

キ皆ナ米軍ノ獲ル所ト為ル

(先) 英米ノ兵ヲ構フルヤ歐洲大亂ノ一分枝タルニ過キス故ニ其亂幹平クニ及テ交戦自ラ息ム之ヲ要ルニ兩國ノ争フ所ハ海上權ト中立權ノ如何ニ外ナラスト雖天下已ニ昇平無事ニ歸スルニ至テ事ノ争フ可キナシ故ニ歐亂定ルノ日兩國互ニ兵ヲ息メント欲ス是時ニ當テ魯帝自ラ之カ中保タラントス英國政府之ヲ肯ヤス倫頓若クハゴツテンボルグニ會シテ直接ノ議ヲ開カンヲ發言ス北亞聯邦乃チ其委負ヲ

發シ英國ノ使臣トゴツテンボルグニ會同セシム後チ會場ヲゲントニ更メ終ニ千八百十四年十二月二十四日ヲ以テ約ヲ締ヒ簽名鈴印ス  
(三) 和約未タ成ラス正ニ其議ヲ開クノ時ニ方テエドワード、パツキンハム大兵ヲ督シテ英國ヲ發シニウ、オルレトンスヲ攻ム其志勝榮ヲ以テ戦局ヲ結ハントスルニ在リト雖不幸ニシテ大ニ敗ル英軍敢テ疲勞ニ堪ヘ艱難ヲ冒シ勇進奮闘以テ府壘ニ逼ル將軍ジヤクソン米軍ヲ督シテ大ニ之ヲ破ル實ニ千八百十五年一月八

日ナリ敵兵死傷并ニ俘ト為ルモノ大約二千六百人元帥バツケンハム等將士多ク之ニ死ス米軍死者僅ニ七人傷ヲ負フモノ六人ニ過キス是ヲ至局ノ大戰トス

(世) 千八百十四年國兵足ラス東北諸州ノ守備甚タ薄弱ナリ州民大ニ之ヲ憂フ是時ニ當テマツサキセツツノ州會一議ヲ提出シニウエングランド等諸州ノ代議士ヲ會シテ守防ノ策ヲ議セントス乃チ十二月十五日ヲ以テコン子クチクツトノハートフオールドニ會ス皆ナ俊逸顯名

ノ士ナリ開議三週日ヲ經テ其議決スル所ヲ公布ス會負中更ニ委負ヲ大政府ニ出シ事ヲ議セシム恰モ好シ英國ト和約締了ノ報ワシントンニ至ル是ヲ以テ幸ニシテ終ニ兵ヲ息メ武備ヲ解ク

(世) ゲントノ和議固ヨリ開戦ノ起因ヲ引說セス况ンヤ英國ノ米艦ヲ搜查シテ其水手ヲ逼役スル等ノ權利如何ニ至テハ敢テ議定スル所ナシ其權利ノ真假ヲ問ハス彼此互ニ之ヲ保有スルヲ猶ホ開戦前ノ如ク然リ是ヲ以テ他日モシ

英國ノ歐亂ニ干與スルヲアラハ一時和局ヲ茲ニ結ヒタルモ必スヤ彼此兩國ノ間ニ再ヒ爭端ヲ開キ更ニ新蕩藤ヲ生スルニ至ルモ未タ知ル可カラサルナリ故ニ今後兩國ノ人民カメテ交ヲ厚フシ争ヲ避ケ親ヲ結ヒ教ヲ同フシ兼テ又タ其利害ヲ共ニシ以テ愈彼此ノ關係ヲ親密ナラシメ永ク兩國ノ平和ヲ維持スルヲ獨リ其利益タルノミナラス亦タ其本分タルヲ知ル可キナリ是レ吾人ノ切ニ期望スル所ナリ

(三) 戰亂ノ人命ヲ殞シ財產ヲ壞リ不善ヲ行ヒ

疾苦ヲ増スノミナラス終ニ其被害ノ國民ヲシテ恰當ノ補償ヲ得セシムルヲ蓋シ少シトス故ニ人苟モ教ヲ信シ國ヲ愛シ兼テ慈仁ヲ欲セハ宜シク國際上ノ争件ヲ定ムルニ更ニ一層ノ良法ヲ設ケテ之ヲ實行スルノ道ヲ求メサル可カラサルナリ是レ他ナシ戰亂ノ禍ヲ避ケ正理公法ニ基キテ其争點ヲ調停スルノ術アルノミ

(四) マダソン職ニ在ル八年任滿ルノ後チ千八百十七年ゼームスモンロウ其後ヲ承クモンロウハマダソン在職ノ日國務尚書タリ千八百二



西史要略 卷之六  
十一年ニ至リ衆口聲ヲ齊フシテ再ヒ之ヲ撰任  
ス但タ一票ヲ欠キタルノミ

(世) モンロウ職ニ在ルノ日國中昇平ニシテ嚮  
ニ英國ト兵ヲ構ヘ一時國勢ノ隆興ヲ妨ケタル  
モ今ヤ漸ク其舊態ニ復スルニ至レリ

(世) 千八百二十一年フロリダ州北亞聯邦ノ版  
圖ニ入ル是レ五百萬弗ヲ以テ西班牙ノ交付ス  
ル所ナリ

(世) 千八百二十一年ミツソリー州マタ版圖ニ  
入ル是ヨリ國中役奴ノ議盛ニ行ハレ延テ數年

ニ及ヒ常ニ政談社會ノ激昂ヲ來タスニ至レリ  
初メ役奴ノ制限ヲ定メスシテ之ヲ版圖ニ加ヘ  
ント欲シ可否ヲ國會ニ諮フ代議院ニ於テ激論  
數日ニ亘リ終ニ八十六票ニ對スル九十票ノ多  
數ヲ以テ之ヲ可決ス是時マタ令ヲ發シ北緯三  
十六度三十分以北ノ地ニ於テ奴ヲ役スルヲ禁  
ス後世之ヲ名ケテミツソリーノ讓和令ト曰フ  
(世) 千八百二十四年八月將軍ラフエツト國會  
ノ招邀ヲ受ケニウヨークニ上陸シ國內二十四  
州ヲ周行ス到ル處狂喜シテ之ヲ迎ヘ待ツニ國

賓ノ禮ヲ以テス千八百二十五年六月十七日ブ  
ンケル丘交戦ノ第五十年祭ニ臨ミ九月ニ至リ  
佛國ニ歸航ス其十二月國會ノ決議ヲ以テ金二  
十萬弗并ニフロリダノ一邑ヲ割テ之ニ贈リ以  
テ革命ノ功勞ニ報ユ

(兎) 千八百二十五年ジヨン、クインシー、アダム  
スモンロウノ任ヲ繼クアダムスハモンロウ職  
ニ在ルノ日國務尚書タリ是ヨリ先キ千八百二  
十四年大統領ノ撰擧アルニ當テ之カ候補タル  
モノ四人アリ即チジヨン、クインシー、アダムス

アンドリウ、ジャクソン、ウイリアム、エツチクロ  
ウフオールド及ヒヘンリー、クライ是ナリ而シテ  
其投票ノ數ジャクソンハ九十九アダムスハ八  
十四クラツフオールドハ四十一クライハ三十七  
ナリ國人ノ見ル所固ヨリ甲乙ノ別ナキヲ以テ  
更ニ其撰定ヲ代議院ニ託スアダムスハ七州ノ  
投票クラフオールドハ四州ノ投票ニシテアダム  
ス獨リ十三州ノ投票ヲ受ケ終ニ大統領ニ任ス  
(早) アダムスノ職ニ在ルヤ國內昇平ニシテ最  
モ隆榮ヲ極メ海外諸國ト和親通商ノ約ヲ締ヒ

國ヲ益スル少シトセス且ツ燈臺ヲ築キ武庫ヲ  
 建テ城壁ヲ固フシ其他造艦局ヲ増置シ國內交  
 通ノ便ヲ開クカ如キ護國ノ術至ラサル所ナシ  
 殊ニ政府ノ補助ヲ以テ道路橋梁ヲ改修スルモ  
 ノ是國前古比ナキ所ナリ

(聖) ゼオルデア州中土蕃チエンロキース族及  
ヒクリーキス族所有ノ地アリ大政府ゼオルデ  
 ア州ノ稟請ヲ容レ土蕃ノ所有權ヲ滅却ス嚮ニ  
 モンロウ在任ノ末年クリーキス族公會ヲ開キ  
 衆議其地ヲ捨ルヲ肯セス既ニシテ會散スルノ

後チ一二酋長ノ猶ホ其地ニ留マルアリ終ニ之  
 ヲ説キ約ヲ立テ以テ其地ヲ北亞聯邦ニ交付セ  
 シムクリーキス族之ヲ以テ騙詐ノ處置ト為シ  
 敢テ遵ハス然ルニゼオルデアノ知州以テ效ア  
 リト為シ斷然ツノ約ヲ履行セントフ  
 (聖) 是時ニ當テ土蕃之ヲ大統領ニ哀訴ス大統  
 領乃チ之ニ干涉シテ其難ヲ救フト雖正當ノ  
 價ヲ以テ其地ヲ買収スルノ得策タルヲ知り商  
 議成ルノ後チ幾モナク土蕃ヲミスシツビー河  
 北ノ地ニ移ス

(罌) 千八百二十八年新ニ海關稅則ヲ設ケ普ク租稅ヲ輸入ノ物品ニ賦課ス以テ内國ノ製造ヲ保護セント欲スルナリ而シテ國人悅ハス南方諸州ノ如キ特ニ然リ故ニ國會ニ於テ此法ヲ議決シテヨリ以來不幸ニシテ常ニ反對政黨相爭フノ一論題ト為ルニ至レリ  
(罌) 千八百二十六年七月四日ジヨン・アダムス及ヒトーマス、ゼツフェルソン死スアダムス享年九十一ゼツフェルソン春秋八十四ナリ千七百七十六年獨立ノ檄文ヲ草スルニ當テ國會五

名ノ委員ヲ撰定スアダムスハ其第一位ノ居リゼツフェルソンハ其第二位ヲ占ム而シテゼツフェルソンハ自ラ其稿ヲ起シアダムス大ニ此舉ヲ賛ケ且ツ最モ勢力アリ後チ相繼テ北亞聯邦ノ大統領ニ任ス是國反對政黨ノ二派ニ分裂スル久シ亦タ各其首領タリ而シテ濫焉俱ニ世ヲ逝ル是日ヤ實ニ米國獨立ノ紀元タル檄文公布ノ第五十年祭ナリ

第七章 ジャクソンノ主治 バンブ  
ーレンノ主治 タイレルノ

主治　ボークノ主治　墨西

哥ト兵ヲ構フ　タイロル

ファイールモリアノ主治　即

チ紀元後千八百二十九年ヨ

リ千八百五十三年ニ至ル

(一)　千八百二十九年アンドリウ、ジャクソンア

ダムスノ任ヲ紹クジャクソン武功ヲ以テ特ニ

著ハル嘗テニウオルレーンスニ戦ヒ土蕃セミ

ノール族及ヒクリーキ族ヲ伐チ勇將ノ名一世

ヲ壓ス

(二)　將軍ジャクソン任ニ在ルノ日は國未曾有

ノ一大點職ヲ行フ之ニ亞テ事ノ較著ナルモノ

ハ固ク執テ聯邦銀行ヲ敵視シ以テ終ニ之ヲ倒

覆シ及ヒ土木起工ノ政略ヲ拒絕シタルノ二事

ナリ起工費支出ノ議案ニシテ國會二院ノ可決

ヲ經ルモノ一ニシテ足ラス且ツ更ニ聯邦銀行

ノ允可証ヲ下付スルノ議案ノ如キモ亦タ一タ

ヒ其可決スル所ト為リタリト雖モ皆ナ斥ケテ

之ヲ准サス

(三)　千八百三十二年十一月ソウスカロリナノ

州會代議士ヲコロンビアニ招集シ千八百二十年及ヒ千八百三十二年國會發行ノ法令即チ外品ニ課稅シテ内國ノ製造ヲ保庇スルノ處置ハ國憲ニ悖リテ効力ナキヲ以テ州民之ニ遵フノ義務ナキモノトス時人之ヲ名ケテ廢絶ノ舉ト曰フ

(四) 其十二月大統領ジヤクソン告諭ヲ發シテ大政府ノ主旨權限ヲ表明シ兼テ國法ヲ斷行スルノ精神ヲ示スソウスカロソナノ知州之ニ抗シテ一篇ノ告諭ヲ發シ州民ヲシテ海關稅則ノ

施行ニ違逆セシム是ニ於テ大統領國會ニ傳諭シ行政部ヲシテ反法ノ殺氣ヲ鎮壓シ以テ國法ヲ維持スルノ權カヲ領有セシム  
(五) 一時物情洶々トシテ將ニ事アラントスト雖氏終ニ平溫ノ調停ヲ以テ其局ヲ結フニ至レリビルゲニアノ公會ソウスカロリナニ請求スル所アリクライ海關稅則ヲ更訂スルノ一新案ヲ提出シ名ケテ讓和法令ト曰フ千八百三十三年三月一日終ニ之ヲ議決シテ國法ト為ス是ニ於テ三月十一日ヲ以テソウスカロリナニ於テ其

公會ヲ開キ彼ノ廢絶令ヲ革除ス

(六) 千八百三十三年三月大統領ジャクソン再任ス其九月ヲ以テ財部尚書ドゥンニ令シテ聯邦銀行ニ託スル所ノ官金ヲ搬去セシムドゥン肯セズ終ニ黜ケラルタニ一乃チ之ニ代リ其託付ノ貯金ヲ收メテ更ニ之ヲ數多ノ國立銀行ニ分附ス千八百三十四年元老院ニ於テ衆議一決シテ痛ク大統領ノ處置ヲ排撃ス然レ氏千八百三十七年ニ至リ元老院自ラ其決議録ヲ院誌中ヨリ削除ス

(七) 千八百三十四年將ニ佛國ト戰ヲ開ントス民心洶々國中為ニ動ク是ヨリ先キナポレオン在位ノ間縦ニ米國ノ商品ヲ搶劫ス是ヲ以テ千八百三十一年佛國政府約ヲ締ヒ之ヲ償ハンコヲ諾ス然リ而シテ佛國政府齟然約ニ違フ千八百三十四年大統領反搶以テ佛國ノ貿易ヲ妨害セント欲スト雖氏國會之ニ從ハス明年佛國政府約ヲ履ムノ準備ヲ為スニ至リ幸ニシテ事平ク

(八) 千八百三十五年十二月十六日ニウヨーク

ニ大火アリ府中商業最盛ノ地概子烏有ニ歸ス  
實ニ是國未曾有ノ大火災ナリ民財ヲ燼滅スル  
總計一千七百萬弗ノ上ニ出ツ

(九) 曩ニ英國ト兵ヲ交ヘテヨリ以來千八百十  
六年ニ至ルマテ北亞聯邦ノ公債一億二千七百  
萬弗ヲ過ク既ニシテ平和ニ復スルノ後チ債額  
立口ニ減却シ千八百三十六年ニ及テ盡ク之ヲ  
償還ス千八百三十七年一月一日ノ計算ニヨレ  
ハ國庫中二千七百萬弗ノ剩餘ヲ生スルニ至レ  
リ千八百三十六年國會ノ議決ニヨリ四期ヲ以

テ此剩餘(原)其中五百萬弗ヲ保存シテ數州ニ分付ス而シテ  
其金額ノ多寡ハ元老院及ヒ代議士ヲ出スノ員  
數ニ準シテ之ヲ定ム

(十) 千八百三十五年ノ末ニ迨テ土蕃セミノ  
ル族フロリダヲ去テミスシツピー河西ノ地ニ  
移ルヲ肯セス是ニ於テ交戰數年ニ涉リ國財ヲ費  
ス少シトセス千八百四十二年ニ至テ終ニ之ヲ  
戡定シ其地ヲ逐フ此役ヤ千八百三十六年ニ起  
リ千八百四十年ニ畢ル其軍費官報ノ載ス所通  
計一千五百萬弗ヲ超ヘタリ即チ嚮ニ此地ヲ買



フニ當リ西班牙ニ交付スル所ノ金額ニ超過ス  
ル正ニ三倍余ナリ

(士) 千八百三十七年マルチンバンブレンア  
ンドリウ、ジャクソンノ後ヲ承ク是ヨリ先キ四  
年ノ間バンブレン副統領タリ其大統領タル  
ニ及テ治略一ニジャクソンノ舊ニ依ル

(士) 此年ノ春是國未曾有ノ一大商變アリ二三  
年來投機以テ利ヲ網セントスルノ氣風漸ク國  
中ニ充溢シ國立銀行ノ設置ヲ允可スルモノ幾  
百ナルヲ知ラス是ニ於テ紙幣ノ流通益多キヲ

加ハタルノミナラス各州及ヒ諸會社ニ於テ費  
途ヲ顧ミス運河鑿道等ノ如キ大土功ヲ起ス一  
ニシテ足ラス而シテ外品ノ輸入ハ其數測ル可  
カラスシテ靜産ノ價格ハ遙ニ其真價ノ上ニ騰  
貴ス都邑村落ノ如キ殊ニ然リ是レ此商變ノ由  
テ來ル所以ナリ闔國到ル處餘賑ノ道全ク跡ヲ  
絶ツニ至ル

(士) 五月十日ニ至リニウヨーク府内ノ銀行盡  
ク正貨ノ支出ヲ停止シテヨリ全國ノ銀行忽チ  
之ニ倣フ是ニ於テ商業社會ミナ困弊ヲ極メ商

都到ル處破産相踵ク獨リニウ、ヨークノ一府内ニシテ特ニ其大ナルモノヲ摘要スレハ破産ノ總額猶且ツ六千萬弗ノ上ニ出テタリト云フ  
(五) 大政府マタ其厄ヲ同フス蓋シ官金ヲ託スル所ノ銀行ミナ共ニ正貨ノ支出ヲ停止シタルヲ以テナリ大統領乃チ例期ヲ待タス國會議員ヲ徵集シ九月四日ヲ以テ開會セシム議決スルニ及テ一令ヲ發シ彼ノ各州ニ分付ス可キ餘金ノ第四期ヲ遲延シテ千八百三十九年一月一日ト為シ且ツ一千万弗ノ銀券ヲ發シ以テ官衙ノ

費途ニ充ツルヲ允ス大統領マタ一議案ヲ發シ別ニ官金ヲ出納總監ノ手ニ委子ント欲ス之ヲ名ケテ副財部議案或ハ特立財部議案ト曰フ元老院之ヲ可決スト雖氏竟ニ代議院ノ否決スル所ト為ル斯クノ如クナル一再三嘗ナラス終ニ千八百四十年六月ニ至リ兩院ノ准可ヲ經テ國法ト成ル是ヨリ先キ千八百三十八年全國ノ銀行概子正貨ノ支出ヲ復ス  
(五) 千八百三十七年カナダノ居民亂ヲ作シ英國政府ニ叛ス是レ一二名士ノ扶援スル所ナリ

國內為ニ擾動スベルモント及ヒニウ、ヨークノ州民ニシテカナダ接近ノ地ニ居ルモノ多ク叛徒ニ黨ス大政府乃チ其罪ヲ責メ大統領マタ告諭ヲ發シ之ヲシテ各其故土ニ歸ラシメ且ツ之ヲ戒ムルニ從ハサル者ハ嚴刑ニ處スルヲ以テス  
(其) 千八百四十一年ウイリアム、ヘンリー、ハリソンバンゾーレンノ任ヲ繼クハリソン稍施政ニ長スト雖氏武功ヲ以テ其名特ニ著ハル三月四日任官ノ大禮ヲ行ヒ四月四日竟ニ卒ス

即チ職ニ就テヨリ日ヲ經ル正ニ一閱月ナリ大統領ノ職ニ在テ薨ヲ易フルモノ是國實ニハリソンヲ以テ始ト為ス國人大ニ之ヲ惜ム  
(其) 將軍ハリソンハ革命黨ノ候補ニシテバインブローレンハ民政黨ノ候補タリ故ニ之ヲ推撰スルニ當リ兩黨ノ爭最モ激烈ヲ極ム是國未タ曾テ有ラサル所ナリ大統領撰舉ノ投票總計二百九十四アリハリソン二百三十四票ヲ得タリジョン、タイレル副統領ノ投票ヲ受クル同數ナリ故ニ大統領ハリソン卒スルニ及テ國憲

ノ條款ニ遵ヒ大統領ニ任ス然レモ肯テ其黨旨ヲ實施セサルヲ以テ各黨ミナ之ヲ悦ヒス

(六) 五月三十一日大統領ハリソンニ例期ヲ待タス國會議員ヲ徵集シ審議讞論法令ヲ革除スル少シトセス副財部議案ノ如キ則チ是ナリ且ツ二種ノ議案ヲ可決シ收税銀行若クハ國立收稅會社ヲ設立セントス大統領ミナ之ヲ斥ク是レ革命黨ノ切ニ望ム所ナリ故ニ人心大ニ激シ内閣諸員ミナ其職ヲ辭ス幸ニシテ國務尚書ウエブストルハ英國ト北東國境ノ葛藤ヲ定ルニ

至ルマテ依然トシテ其職在ルヲ得タリ

(五) 千八百四十二年新ニ海關稅則ヲ設ケ以テ國庫ヲ充タシ兼テ内國ノ製造及ヒ各種ノ工業ヲ保護ス是レ革命黨得意ノ政略ニシテ銳意之ヲ賛ク是ニ於テ大ニ國運ヲ挽回セリト雖モ國中或ハ大ニ不滿ヲ懷ク者ナシトセス南方諸州ノ如キ特ニ然リ

(三) 北亞聯邦北東ノ境界ニシテマイン州ト英屬下部カナダ并ニウ、ブリンスウイツキトノ間ニ接スルモノ彼我ノ一論題ト為ル茲二年ア

リ終ニ是非ヲ干戈ニ訴ヘントスルニ至ル然レ  
氏千八百四十二年九月ニ至リ爵紳アスボルト  
ンダニールウエズストルトワシントンニ盟ヒ  
事平ク

(世) タイレル職ニ在ルノ日テキサスノ共治國  
ヲ版圖ニ加フ是レ國務尚書シヨン、シーカルホ  
ンノ主唱ニ成ルモノニシテ世論之力為ニ囂々  
タリ而シテ國會二院齊シク之ヲ是認ス代議院  
ニ於テハ千八百四十五年一月二十五日九十八  
票ニ對スル百二十票ノ多數ヲ以テ之ヲ可決シ

元老院ニ於テハ三月一日二十五票ニ對スル二  
十七票ノ多數ヲ以テ之ヲ可決スルニ至レリ大  
統領乃チ即之ヲ認可ス

(共) 千八百四十五年ゼームスノツクス、ポーク  
タイレルノ任ヲ繼クポークハ民政黨ノ候補ナ  
リ撰任ノ際兩黨ノ争太ク熾ナリポーク終ニ百  
七十票ヲ得テ大統領ト為ル而シテヘンリー、ク  
ライ革命黨ノ候補タリ百五票ヲ受ク

(三) 民政黨ハポークノ羽翼タリ飽マテテキサ  
スノ入圖ヲ是トシ且ツオレゴン地方ノ全部ヲ

以テ北亞聯邦ノ所轄ニ屬セントスポーク就任  
ノ大禮ヲ行フニ當リ揚言シテ曰ク必上ハ二件  
一ハ必テ墨西哥ト兵ヲ構ヘ一ハ必テ英國ト釁  
ヲ生スルモ未タ知ル可カラスト雖氏固ク執テ  
其黨論ヲ保持不可シト

(註) 北東ノ境界ニシテ北亞聯邦ト英屬北亞地  
方ト相接スルモノアリ彼我互ニオレゴン地方  
ノ所有ヲ争ヒ辨論決セサルモノ久シ是時ニ當  
テ議將ニ破レントスルニ至レリト雖氏千八百  
四十六年六月ワシントンニ盟ヒ北緯四十九度

ヲ以テ境界線ト為シ幸ニ其難ヲ解ク

(註) 千八百四十六年七月大統領ノ勸諭ニヨリ  
國會ニ於テ新定海關稅則ヲ可決ス是レ首トシ  
テ國庫ノ充溢ヲ計リ大ニ内國工業ノ保護ヲ薄  
フスルモノナリ故ニ千八百四十二年定ムル所  
ノ海關稅則ト經庭ナキ能ハス

(共) テキサスヲ北亞聯邦ノ版圖ニ加ヘテヨリ  
終ニ墨西哥ト兵ヲ構フ往時テキサスハ墨西哥  
ノ附庸タリ千八百三十六年獨立ヲ公告シ別ニ  
共治政體ヲ立ツ墨西哥且ツ之ヲ是認セス千八

百四十五年三月國會ニ於テ其併附ヲ可決スル  
ヤ北亞聯邦駐劄ノ墨西哥公使將軍アルモン  
忽チ其決議ヲ難論シ路券ヲ要ム是ニ於テ兩國  
ノ交際竟ニ破ル

(其) 是ヨリ先キテキサスノ境界未タ定マラス  
テキサス及ヒ北亞聯邦ノ政府ニ於テハリオク  
ランド河ヲ以テ其國南西ノ境界ヲ成スモノト  
為シ墨西哥ニ於テハノウセス河ヲ以テ其境ト  
為ス是ニ於テ彼我ソノ二河流間ノ土地ヲ爭ヒ  
終ニ戰端ヲ其地ニ間キ且ツ互ニ挑釁ノ罪ヲ責

ムルニ至ル

(其) 千八百四十五年七月テキサス共治國ノ立  
法院ニ於テ國會ノ決議ヲ准認シ北亞聯邦ノ版  
圖ニ入ル乃チ大統領ポークニ請フテ守防ヲ嚴  
ニシ以テ墨西哥ノ來襲ニ備フ是ニ於テ海ニハ  
舟師ヲ墨西哥灣ニ發シ陸ニハ將軍サチヤリ  
タイロルヲ遣シ大兵ヲ督シテテキサスノ南境  
ヲ守ラシム

(其) 是ヨリ先キ將軍タイロル兵四千餘人ヲコ  
ルプスクリスチーニ聚團ス千八百四十六年三

月北亞聯邦政府ノ訓令ヲ受ケ其争フ所ノ地方  
 リオグラランド河ニ進軍ス乃チ營ヲ其左岸ニ張  
 リマタモロラスニ對シテ堡壘ヲ築キ且ツ軍需  
 廠ヲポイントイサベルニ置ク其地海岸ニ接シ  
 軍後ヲ距ル二十英里ノ上ニ出ツ

(三) 將軍アンプデア及ヒアリススタイロルノ  
 進軍ヲ以テ來攻ノ舉ト為シ即チ墨兵八千余人  
 ヲリホグラランド河畔ニ集合シマタモラスノ内  
 外ニ屯在セシム四月二十四日將軍アリススタ將  
 軍タイロルニ告ケテ曰ク戰端已ニ發ケリ乃チ

旗鼓ノ間ニ相見ニトテ期スト嚮ニタイロル裨  
 將ソルントンヲ分遣シ騎兵三十三人ヲ帥テ敵  
 情ヲ探ラシム其日アリススタ大兵ヲ督シテ之ヲ  
 襲撃ス米軍死傷十六人餘衆ミナ擒ニ就ク  
 (世) 後チ數日ヲ經テ墨軍大半河ヲ濟リ將ニホ  
 イントイサベルノ軍需廠ヲ襲ハントス將軍タ  
 イロル之ヲ聞キ進テ其急ヲ救フ途ニ一兵ノ之  
 ヲ遮ルナシ是ヨリ先キ米國ノ舟師墨西哥灣中  
 ニ碇泊ス水兵五百ヲ出シテ其守兵ヲ援ケ以テ  
 警備ヲ固フス是ヲ以テタイロル五月七日ニ至



リ踵ヲ面シテリオ、クランド河ニ向フ

(世) 次日將ニ晌午ナラントスルニ及テタイロ  
ル六千ノ墨軍ニパリアルトニ遇ヒ交戦五時ヲ  
經テ遂ニ之ヲ破ル敵兵死傷四百ニ幾シ米軍總  
數二千三百許死傷大約五十人裨將リングゴ  
ルド之ニ死ス國人歎惜ス

(世) 明日米軍進行三英里ニシテ復タ墨軍ニ遭  
フ墨軍レサカデラバルマニ據リ守ヲ嚴ニス米  
軍遂ニ之ヲ破ル墨軍死傷六百余人俘ト為ルモ  
ノ甚タ多シ敵將スベガヲ擄ニシ盡ク其軍需巨

礪ヲ奪フ後チ數日ヲ經テ將軍タイロルリオ、  
ランド河ヲ濟リマタモラスヲ略ス墨兵已ニ去  
テ其地ニ在ラス

(世) 五月上浣裨將ソルトンノ敗報ワシント  
ンニ至ル之ニ加フルニ將軍タイロルノ軍危急  
ノ狀ヲ告クル其實ニ過ルモノアリ是ニ於テ人  
心大ニ激ス會國會議ヲ開ク五月十一日大統領  
乃チ特使ヲ發シテ之ヲ國會ニ告ケテ曰ク墨軍  
境ヲ侵シ同胞ヲ殘戮セリト國會奮議二日ニ涉  
リ終ニ公告シテ曰ク墨米兵ヲ構ハルモハ彼レ

先ツ事ヲ發スルニ起因スルナリト且ツ大統領  
ヲシテ十二月間五萬ノ義兵ヲ役シ軍資一千萬  
弗ヲ費用セシム初メ本案ヲ議スルニ當リ其題  
詞中此役ヤ墨西哥ハ挑ム所ニ出ツルノ語アリ  
國會議員中革命黨ニ屬スルモノ異議ヲ提出シ  
テ之ヲ塗抹セント欲ス然レモ代議院ニ於テハ  
十四票ニ對スル百四十二票ノ多數ヲ以テ原案  
ヲ可トシ元老院ニ於テハ二票ニ對スル四十票  
ノ多數ヲ以テ之ヲ准認シ終ニ其題詞ヲ存スル  
ニ決ス

(註) 然ルニ國中銳意其罪ヲ鳴ラスモノ甚タ多  
シ北部諸州ノ如キ特ニ然リ皆ナ以為ラク是レ  
不義敢テ事ヲ好ムモノナリ幸ニ其志ヲ達スル  
モ得失何ソ償ハント北部諸州ノ州會ニシテ或  
ハ此説ヲ作スモノアリ國會議員中革命黨ニ屬  
スル者ノ如キ之ヲ切論スル帝ニ再三ノミナラ  
ス故ニ代議院ニ於テハ已ニ上文ノ議決アリト  
雖モ千八百四十八年一月ニ至リ八十一票ニ對  
スル八十五票ノ多數ヲ以テ之ヲ公告シテ曰ク  
此役ヤ元ト大統領ハ濫ニ事ヲ好ムニ出テタル

ハミナラス其行ハ所國憲ニ悖ルガシトセスト  
(其) 後チ幾モナクテキサス及ヒ連境ノ諸州大  
ニ義兵ヲ發シ將軍タイロルノ軍多キヲ加フリ  
オ、グラント河畔ノ墨都ヲ拔キ營ヲ各處ニ散布  
シテ更ニ新兵ヲ聚練シ以テ墨西哥ノ内地ヲ侵  
伐セントス

(世) 兵備三月ヲ經テ終ニ成リ將軍タイロル六  
千乃至七千ノ兵ヲ督シテ進ム以テモントレー  
ヲ攻メント欲スルナリモントレーハニウ、レオ  
ンノ州城ニシテ防虞甚タ嚴ナリ將軍アムプダ

ア墨兵一萬余人ヲ帥テ之ヲ守ル

(世) 千八百四十六年九月十九日米軍モントレ  
ーニ至リ二十一日ヲ以テ急ニ之ヲ攻ム奮撃慘  
闘三日ヲ經テ遂ニ其要壘ヲ陷レ州城ノ大半ヲ  
略ス二十四日ニ至リ將軍アムプダアノ請ニヨ  
リ降ヲ容ル墨軍乃チモントレーヲ去ル此時將  
軍タイロル八週日ノ休戦ヲ諾シ以テ米墨兩國  
政府ノ批准ヲ仰ク

(世) リオ、グラント河畔ニ於テ米墨正ニ兵ヲ交  
ユルノ時ニ當テ墨西哥前任大統領將軍サンタ

アンナ海外流竄ノ地ヨリ歸リ來リ政府ヲ覆シ  
大統領パレドスヲ黜クサンタアンナハ其國無  
比ノ雄將ニシテパレドスハ主戰黨ノ首領タリ  
是ヲ以テ米國政府竊ニ望ヲサンタアンナニ屬  
シ以爲ラク佞レ已ニ顯要ニ復セハ必スヤ其力  
能ク和ヲ講スルニ至ラシム可シト米國大統領  
乃チ訓令ヲ墨西哥灣中碇泊ノ水師提督ニ傳ヘ  
以テ其歸路ヲ阻碍スルナカラシム然リ而シテ  
其期スル所全ク畫餅ニ屬シサンタアンナノ權  
ヲ執ルニ及テ墨人ノ激昂却テ前日ニ倍シ銳意

以テ米軍ヲ逐ハント欲スルニ至レリ  
(甲) 是ニ於テ米國政府斷然意ヲ決シテ墨西哥  
第一ノ港城ベラクルヅヲ攻メ進テ其中心ヲ衝  
キ國都ニ逼テ遂ニ城下ノ盟ヲ為サシメントス  
是ニ於テ將軍ロウインフイールドスコットヲ  
シテ在墨總軍ヲ督シベラクルヅニ進向セシム  
(甲) 嚮ニ將軍タイロルモントレニ在テ休戰  
ヲ約シタリト雖米國政府之ヲ允サス是ニ於  
テ十一月兵ヲ帥テ進軍シ亟ニコーフイア及ヒ  
タモウリパスノ二洲ヲ略ス此時將軍スコット

其地ニ來リ將軍タイロル帥ユル所ノ正兵ヲ收メ去ル是レベラスクルヅヲ攻ムルノ援軍ト為シタルモノナリ

(聖) 千八百四十七年二月將軍タイロル義兵五千余人ヲ督シテ營ヲサルナルロ府外ノアダア子ウバニ張ル其月二十日サンタアンナ兵二萬ヲ帥テ三百英里外ノサンルースボトシヲ發シ磽瘠無水ノ地ヲ經過シテ行軍絡繹已ニ三十英里内ニ至ルタイロル之ヲ聞キ即チ營ヲ散シテ退ク一十一英里終ニボー大ビスタニ至リ深壑

峻嶺ノ天險ニ據テ兵ヲ布ク

(聖) 二月二十二日墨軍壘前ニ逼リサンタアンナ將軍タイロルヲ説テ降ヲ憑ムタイロル肯テ從ハス隨テ一二小戦アリ二十三日墨兵來襲シテ米壘ヲ拔カント欲シ兵及終ニ交ハル墨軍兵多ク一二戦勝アリト雖氏激戦終日ニ亘リ米軍遂ニ全勝ヲ占ム墨軍夜ニ乘シテ營ヲ棄テ列ヲ亂シテ潰散シ其本據サンルイスボトシニ向フ此役ヤ米軍死傷七百二十三人墨軍兵ヲ亡フ二千余人

(罌) 千八百四十七年三月九日將軍スコット兵一萬二千余人ヲ帥テベラ、クルヅノ近岸ニ上陸シ直ニ其府城ヲ圍ミ砲擊數日人ヲ殺シ財ヲ壞ル少シトセス而シテ三月二十九日ニ至リ墨將竟ニ城ヲ開テ降ル彼ノ有名ナルシント、ジヤンド、ユルロア城ノ如キ守兵五千人大砲四百門ヲ投シテ亦タ降ル

(罌) 四月上浣米軍ベラ、クルヅヲ發シ墨都ニ直進スベラ、クルズヲ距ル大約五十英里ニシテセルゴルドノ山道ニ至リ大統領サンタ、アンナ

親ヲ督スル所ノ墨軍ニ遇フ其數一萬二千乃至一萬五千人壘ヲ築キ險ニ據ル

(罌) 四月十八日米軍八千五百人進テ之ヲ攻メ須臾ニシテ盡ク墨壘ヲ拔ク墨軍潰ヘ散ス俘ト為ルモノ三十余人軍器四千乃至五千副巨礮四十三門ヲ喪フ俘囚ノ中五將アリ其一人ナルラ、バカノ如キ曾テレサカ、ド、ラ、バルマノ戰ニ臨テ已ニ擒ニ就ク者ナリ此戰ヤ米軍死傷四百三十一人墨軍兵ヲ亡フ約ソ之ニ三倍ス

(罌) セルゴルドノ戰勝アリテヨリ未タ幾ナ

西ノ事 卷二 六

ラズジヤラバ府ヲ拔キ尋テパロートノ堅城ヲ  
陥ル五月十五日米軍ペオブラニ入ルペブラハ  
京城ニ亞キテ國中第一ノ要部タリ是時ニ當テ  
軍中病ニ斃レ或ハ義兵ノ遁走スルアリテ其數  
大ニ減シ其用ニ適スルモノ僅ニ五千余人ニ過  
キス此地ニ駐ルヲ幾ント三閱月ニシテ偏ニ援  
軍及ヒ軍需ノ至ルヲ俟ツ

(哭) 千八百四十七年八月七日援軍終ニ至ル是  
ニ於テ將軍スコット兵一萬千余人ヲ督シテペ  
オブラヲ發シ進テ國都ニ向ラ十八日京城ノ南

十英里ノ地サンオウダスチンノ小郷ニ達ス三  
十日慘闘二回ニ及フ墨兵三萬余人哨堡ヲ京城  
咽喉ノ地ニ築キ以テ其内外ニ屯營スコントレ  
ラスノ初戦ニ於テ米軍四千五百人敵壘ヲ襲ヒ  
交戦二十分時ニ及ハスシテ墨兵七千ヲ走ラス  
其死スルモノ七百人俘ト為ルモノ八百十三人  
且ツ大砲二十二門軍旗數條ヲ奪フ後チ再ヒチ  
ユルンブスコニ戦フ墨軍兵數ノ多キ前鬪ニ倍  
ス而シテ其死スルモノ更ニ衆シ米軍僅ニ六千  
人許遂ニ盡ク之ヲ破ル將軍スコット自ラ戦勝

ノ状ヲ陳ヘテ曰ク一日數戰ニシテ敵兵三萬二千人ヲ破ル其中俘ト為ルモハ三千余人ハ將二人ハ前任アリ一二百五十人アリ而シテ將卒ハ死傷四千餘衆ミナ潰散ス巨礮三十七門其數即チ我カ攻城砲并ニ野戰砲ニ三倍スルモハ及ヒ大小ハ軍器彈藥等ヲ奪フ亦ハ少シトセス我兵死傷總テ千五十三人死者百三十九人其中士官十六人アリ傷者八百七十六人其中士官六十人アリト

(兎) 米軍兵鋒向フ所戰勝相踵ク已ニ斯クノ如

シ是時ニ當テ墨人以為ラク將軍スコット勇往直進以テ京城ニ逼ル必セリト然レモスコット敢テ進テス蓋シ國人ヲシテ狂猛望ヲ絶ツニ至ラシムルヲ欲セサルノミナラス其自ラ言フ所ノ如ク永ク其國ヲシテ傲慢ノ心ヲ養成シ忿恚ノ情ヲ煥起スルノ激因ヲ淹留セシムルヲ願ハサレハナリ故ニ大統領サンタアンナノ休戰ヲ請フニ及テ乃チ之ヲ諾シ八月二十三日ヲ以テ其約書ニ署名鈐印ス

(率) 是ヨリ數月前北亞聯邦大統領乃チニコラ



ストリスヲ以テ之ヲ全權委員ト為シ墨西哥ニ  
至ラシム而シテニコラス今已ニ將軍スコット  
ノ營ニ至リ直ニ墨西哥政府特任ノ全權委員ト  
議ヲ開キ和ヲ議ス然ルニ彼レノ提出スル所其  
約條ノ意ニ滿タサルモノアルノミナラス墨西  
哥ノ將帥縱ニ濠ヲ深フシ壘ヲ築キ以テ休戰ノ  
約ヲ破ル是ニ於テ將軍スコット九月七日ヲ以  
テ再ヒ戰端ヲ發クニ至レリ

(至) 次日將軍ウオールス米軍一分隊三千二百  
人ヲ督シテエルモリムデルレイノ要害ヲ攻メ

急ニ襲テ遂ニ之ヲ拔ク此レ大統領サンタ、アン  
ナ親ヲ墨軍一萬四千余人ヲ帥テ守ル所ナリ此  
役ヤ墨軍兇猛激烈ヲ極メ死傷并ニ俘ト為ルモ  
ノ三千人ニ至ル米軍ノ死傷幾ント八百人即チ  
從軍者ノ四分一許ナリ

(至) 後チ五日ヲ經テチャプルテピツクノ硝堡  
ヲ襲フ守兵走テ京城ニ入ル其地斷岸絶壁ノ山  
頭ニ在リ高サ百五十呎米軍勝ニ乘シテ追撃シ  
日暮城門ノ内外ヲ占取ス

(至) 敗餘ノ墨兵政府ノ官吏及ヒ國會ノ議員夜

ニ乘シテ京城ヲ去ル明日米軍遂ニ全ク之ヲ略  
ス實ニ千八百四十七年九月十四日ナリ

(番) 將軍スコット京城ニ至ルノ途次連戦兵ヲ  
亡フモノ死傷二千七百余人其遂ニ之ヲ略シテ  
城門ニ入ルヲ得タルモノ六千人ニ滿タス此  
時城中ノ居民十四萬人アリ

(奎) 將軍タイロル及ヒスコット兵ヲ帥テ既ニ  
墨西哥ヲ侵伐ス一千八百四十六年六月下浣將  
軍キール子ーマタ義兵千六百人ヲ督シテミツ  
ソリヲ發シニウメキシコヲ征略セシム欲ス

(美) 將軍キールニ一大約一千英里ノ荒野ヲ過  
キ長途ノ行軍ニ疲勞シテ八月十八日サントフ  
イーニ至リ遂ニ之ヲ略ス敢テ一人ノ敵スルナ  
シキールニ一即チ自ラ稱シテニウメキシコノ  
知川ト為リ告諭ヲ發シ州民ヲシテ墨西哥ノ所  
轄ヲ離レ北亞聯邦ノ民籍ニ入ラシム

(英) 千八百四十六年十二月參軍ドンハン兵九  
百ヲ將テサントフイーヲ發シ墨西哥ノチホウ  
ハヲ伐ツドンハンハミツソリニ起リ自ラ好  
テ役從フ者ナリ其一分隊五百人リオ格蘭ド

河畔ノブラシトニ至リ墨軍千二百ト戦ヒ遂ニ之ヲ走ラス其死傷約ソ二百人米軍死スル者ナク傷ヲ負フ者僅ニ七人ニ過キス

(庚) 後チ二月ヲ經テ千八百四十七年二月二十八日ニ至リ參軍ドンハン小兵ヲ督シテ墨軍四千人トサクラメントノ險隘ニ戦ヒ撃テ之ヲ走ラス是レ其知州ノ親ヲ帥ユル所ニシテ要害ノ地ニ據リ巨礮ヲ列子テ之ヲ守ルモノナリ明日即チ三月一日米軍遂ニチホウハノ要都ヲ略ス

(堯) 千八百四十九年ノ夏兵總クレメント原後チ參

將ト北亞聯邦大統領ノ命ヲ奉シ兵六十余人ヲ督シテカリフォルニアヲ捜査ス會其知州帥ユル所ノ墨兵ト戦フ米國移民ノ其地ニ在ルモノ數人之ヲ援ケ遂ニ墨兵ヲ破ル其數遙ニ米軍ニ勝レリ是時ニ當テ水師提督ストツクトン北亞聯邦ノ艦隊ヲ帥テ太平洋ニ在リフレメント米墨兩國已ニ兵ヲ交ユルヲ聞キ乃チ國旗ヲ翻シテ之ト連合シ遂ニ其地ヲ略ス是ニ於テ八月下浣ニ至リカリフォルニア全部盡ク米軍ノ佔有スル所ト為ル

西史彙要 卷之七  
三十一  
(卒) 將軍スコットノ墨京ヲ略スルヤ幾モナク  
和議ヲゴードルプ、ハイダルゴノ府城ニ開キ千  
八百四十八年二月二日ヲ以テ盟約終ニ成ル其  
三月十日米國元老院ニ於テ更ニ之ヲ修正確定  
ス  
(空) 此約ニ遵ヒ墨西哥ヨリニウ、メキシユアツ  
パル、カリフォルニアノ二洲ヲ北亞聯邦ニ交付  
シ且ツリオ、グラント河流ヲ以テテキサスノ境  
界ト為スヲ諾ス千八百四十八年十二月大統領  
ボークノ國會ニ傳告スル所ニヨレハ此約ニ因

リ墨西哥ヨリ得ル所ノ地即チテキサスニウ、メ  
キシコ及ヒカリフォルニアヲ總合スレハ其境  
域八十五萬千五百九十八方英里ナリト云フ  
(空) 北亞聯邦ニ於テハ一千五百萬弗ヲ墨西哥  
ニ交付シ且ツ墨西哥政府ヨリ北亞聯邦ノ國民  
ニ負フ所ノ公債三百五十萬弗ヲ擔償スルヲ約  
シ以テ之ニ報ユ  
(空) カリフォルニアヲ獲ルノ後チ幾モナクサ  
クラメント河畔ニ金坑ヲ檢出ス而シテ其坑脈  
ノ及フ所甚タ廣ク其產出ノ多キ天下ニ比ナシ

是ニ於テ内外ノ人民遽ニ居ヲ其地ニ移スモノ  
太々衆シ其第一年即チ千八百四十八年間ニ於  
テ得ル所ノ金量ハ器械ノ不完全ニシテ方法ノ  
不整頓ナル作業ノ不熟練ナルニ似ス其價總計  
四百萬弗ノ上ニ出タリト云フ

(註) 墨西哥ト兵ヲ構フルノ顛末其レ斯クノ如  
シ即チ將軍スコツト及ヒタイロル以下將士ノ  
力ニヨリ戰勝相踵キ終ニ大ニ地ヲ北亞聯邦ニ  
加フ然リ而シテ人或ハ問ヲ發シテ曰ク是レ果  
シテ德義天道ハ許ス所ナルヤ否ト唯一言以テ

之ニ答ヘンノミ曰ク天ハ冥助ニヨリ害ヲ除キ  
益ヲ起シ終ニ人類ハ自由幸福ヲ進メ良政真教  
ヲ興スニ至ラントヲ望ムト

(註) 千八百四十九年ガチヤリ、タイロルポー  
クノ任ヲ繼クタイロル常ニ兵馬ニ從事シ墨西  
哥ノ役ニ臨テ大ニ功アリ即チ革命黨ノ候補ニ  
シテ百六十三票ヲ得テ大統領ニ任シ將軍レウ  
イスカソスハ民政黨ノ候補ニシテ百二十七票  
ヲ受ク而シテミルリアード、フェルモールハ革  
命黨ノ候補ニシテ百六十三票ヲ受ケ副統領ト

為ル

(癸) 千八百五十年七月九日大統領タイロルワ  
 シントンは在テ暴ニ卒ス會國會議ヲ開ク國人  
 大ニ歎惜ス是ニ於テミルソアード、フイルモト  
 ア國憲ニ遵ヒ乃チ大統領ト為リ北亞聯邦ヲ治  
 ム

(壬) フイルモリア職ニ就クノ後チ幾モナク  
 國會ニ於テ陸續重大ノ法令ヲ可決ス之ヲ名ケ  
 テ讓和ノ處置ト曰フ即チカリフォルニアヲ以  
 テ圖内ノ一州ト為シテキサスノ境界ヲ確定シ

ニウメキシコ及ヒユツターノ封境ヲ編制シコ  
 ロンビア地方ノ賣奴ヲ禁止シ及ヒ脱奴還付條  
 規ヲ設クルカ如キ是ナリ

(癸) 脱奴還付條規ハ千八百五十年九月十二日  
 七十五票ニ對スル百九票ノ多數ヲ以テ代議院  
 ノ可決スル所ト為リタリト雖氏之ヲ要スルニ  
 其餘欵中革命黨及ヒ賣奴ヲ行ハサル諸州ノ人  
 民ニ於テ甚タ肖トセサルモノアリ故ニ之ヲ實  
 施スルニ當テ間亦タ大ニ之ニ抗マル者アルニ  
 至レリ

(癸) 千八百四十九年將軍エンロピズ北亞聯邦ニ來リ不法ノ徒ヲ募テキウバ島ヲ征シ千八百五十年ニ至リ再ヒ之ヲ伐ツ南部諸州ノ名士多ク之ヲ援クト雖氏前後二回ミナ遂ニ克タス

(辛) 千八百五十一年四月大統領フイルモリアロピズ國中ノ匪徒ヲ率テ更ニキウバ島ヲ征スルノ報ヲ聞キ乃チ告諭ヲ發シテ嚴ニ之ヲ誡シム

(壬) 然ルニ八月ニ至リ數百ノ匪徒相率テニウオルレースヲ解纜シキウバニ上陸シテ皆チ俘

ト為ル其中外人若干アリロピズ西班牙ノ法ヲ以テ絞刑ニ處セラル而シテ其徒或ハ刑セラレ或ハ赦サル

(壬) フイルモリアノ脱奴條規議案ニ鈴印スルヤ其黨負ノ離乗スル亦タ少シトセス然レ氏之ヲ要スルニ職ニ在ルノ間其施ス所概チ衆望ニ適セリ就中内國ノ郵稅ヲ減シテ一信預約三銃ト為シ及ヒ千八百五十二年水師提督ペルリヲシテ遠征艦隊ヲ將テ日本ニ向ハシメタルカ如キ其著明ナルモノナリ而シテペルリ遂

ニ其國ト和親ノ約ヲ締ヒ千八百五十四年ニ至  
リ元老院ノ批准ヲ得タリ是ヲ以テフイールモ  
リア任滿チテ身退クノ日國中昇平事ナク最モ  
隆盛ヲ極ム

### 第五章

ピールスノ主治

カンサス

ブカナンノ主治

リンコ

ルン 聯邦分離 即チ紀元

後千八百五十三年ヨリ千八  
百六十一年ニ至ル

(一) 千八百五十三年民政黨ノ候補フランクリ

ン、ピールス二百五十四票ヲ得テフイールモ  
アノ任ヲ紹ク而シテ將軍ワインフィールド、ス  
コットハ革命黨ノ候補ニシテ四十二票ヲ受ク  
大統領ピールス就任ノ大典ヲ行フニ當リ賣奴  
ハ國憲ノ是認スル所ニシテ脱奴條規ノ國憲ニ  
悖ルナキヲ明言スルノミナラス役奴ノ可否ヲ  
論シ人心ノ激昂スルヲ嚴誠ス然レモ幾モナク  
其施ス所却テ之ヲシテ益激昂セシムルニ至レ  
リ

(二) 米墨ノ交戦局ヲ結フノ後チニカラグア及



中部亞米利加諸國ヲ伐ツモノ一ニシテ足ラ  
ス世之ヲ名ケテ征掠ノ舉ト曰フ

(三) 南部諸州ノ人民概ネ其舉ヲ是トシ富豪ニ  
シテ或ハ金ヲ釀シ以テ之ヲ援クルアリ是レ其  
國ヲシテ内外ノ苛虐ヲ脱セシムルヲ名トシ其  
實ハ國內ニ役奴ノ法ヲ行ハントスルニ在リ

(四) 遠征主唱ノ徒ニシテ特ニ名アル者ハウイ  
リアムウオークルナリウオークルハテン子ツ  
シ一ニ生ル而シテ千八百五十五年兵ヲ發シニ  
カラグアヲ伐ツカ如キ就中出征ノ大ナルモノ

ナリウオークル遂ニ其地ヲ略シ之ヲ有ツ僅ニ  
數日終ニニカラグア以外中部亞米利加ノ諸州  
合從シテ之ヲ國外ニ逐フ此征軍ニ從ヒ不幸ニ  
シテ命ヲ隕スモノ三千余人ニ至ル

(五) 千八百六十年八月六日ウオークルホンド  
ラスノトルキシロ近傍ニ上陸シ遂ニ其硝堡ヲ  
略ス而シテ九月十二日ニ至リ銃彈ニ中テ斃ル  
是ヲ末後ノ征戰トス

(六) 千八百五十六年十二月三日國會第三十四  
回ノ開議ニ於テ議長ヲ撰定スルニ當リ前古未

曾有ノ争アリ延テ二月二日ニ至ル（原）即チ九週間ナリ投票百三十三回ニ及テナサニール、ピール、バンクス百三票ヲ得テ終ニ其撰ニ當ルウイリアムアイキンハ百票ヲ得タリ

(七) 千八百五十四年十月英國駐紮米國公使ブカナニ佛國駐劄米國公使メーソン及ヒ西班牙在留米國公使ソールオステンドニ會同シ一億二千萬弗ヲ以テキウバ島ヲ西班牙ヨリ買收スルノ議ヲ提出シ彼レ若シ之ヲ肯サレハ兵力ヲ以テ之ヲ略取セントス南部諸州ノ人民ミナ之

ヲ是トスルモ自由諸州ノ人民痛ク其非ヲ鳴ラヌニ至レリ

(八) ピールスル職ニ在ルノ日米英兩國ノ間ニ交互條規ヲ定メ以テ彼我通商ノ權義ヲ明ニシ且ツ要償法院ヲワシントンニ設ク是ヲ其政績ノ著大ナルモノトス

(九) 千八百五十四年一月封域事務委負兼元老院議長ドウグラスミツソリー州ノ西ヨリ北緯三十六度三十分ノ北ニ至ルノ地ニ於テカニサス及ト子ブラスカノ二域ヲ編成スルノ議案ヲ

發ス前章已ニ載ス所ノミツソリ一讓和令ヲ以テ其地永ク役奴ノ跡ヲ絶ツト雖政府ノ本案ヲ是認スルニ及テ夫ノ讓和令ヲ廢棄シ終ニ役奴ヲ域内ニ行フヲ允ス

(十) 自由諸州ノ人民本案ノ提出ヲ聞キ奮然之ニ抗ス蓋シ役奴ノ區域ヲ擴充スルハ已ニ其欲スル所ニアラサレハナリ其三月ニ至リニウエシクランド諸州各派ノ僧徒三千人署名鈐印シテ書ヲ元老院ニ呈シ痛ク其ノ不當ナルヲ論シ以テ其可決ヲ拒ム而シテ其事特ニ著ハル然ル

ニ五月二十六日ニ至リ十二票ニ對スル三十五票ノ多數ヲ以テ亦タ之ヲ可決ス

(十一) 是ニ於テ自由諸州ノ人心大ニ激昂シ以テ信義ニ悖リ聖約ヲ破ルモノトス終ニ之ヲ是トスル者ト之ヲ非トスル者ト相爭フ數年延テピールス及ヒ其後任ブカナシ職ニ在ルノ日ニ及フ實ニ是國ノ不幸ト謂フ可キナリ

(十二) 本案決了ノ後チ未タ幾ナラス自由諸州ノ人民多ク居テ其地ニ移シ以テカニサスヲシテ一自由州タラシメント欲ス是時ニ當テミツソ

リ州ノ人民マタ之カ首唱ト為リ許多ノ奴隸ヲ率テ居ヲ其地ニ移シ以テ之ヲシテ一役奴州タラシメントス是ニ於テ彼此忽チ争ヲ起シ殘酷ヲ極ム是ニ於テ官吏ヲ撰任シ及ヒ代議士ヲ撰舉シテ憲法ヲ制定スルニ當リ詭計ヲ行フ一ニシテ足ラサルニ至レリ

(三) 志士堅ヲ被リ銃ヲ執リ隊ヲ成シテミツソリヲ發シ進テ域内ニ入ル時人之ヲ名ケテ邊境ノ兇徒ト曰フ是ヨリ先キ居ヲ此地ニ移シカ  
ンサスヲシテ一自由州タラシメントスル者ア

リ而シテ兇徒ノ志固ヨリ兵力ヲ以テ其舉ヲ障害セントスルニ在リ終ニ兵ヲ交ヘ人ヲ殺ス少シトセス

(四) パンシルバニアノエエツチ、リードル初メテ知封ノ職ニ任シ千八百五十四年十月ヲ以テ此地ニ至ル十一月國會議員撰舉會ヲ開ク然ルニ其投票多クハミツソリヨリ來リテ未タ封籍ニ入ラサル者ノ手ニ出テタルヲ以テ概子不法ニ屬ス

(五) 千八百五十五年三月マタ封域立法部議員

ノ撰舉會ヲ開ク而シテ其投票六千二百十八ノ  
中法ニ適ヒ正シキヲ得タルモノ僅ニ千三百十  
票ニ過キス而シテ自由州候補ニシテ投票ヲ得  
タルモノ其數七百九十一アリ

(去) オハイオノウイルソンサンノンリードル  
ニ代リテ知封タリ九月一日ヲ以テ職ニ就ク而  
シテ代議士ヲ撰定シテ之ヲトペカニ會シ憲法  
ヲ議セシメ十一月ニ至リ之ヲ公布シテ役奴ヲ  
禁ス然レテ遂ニ之ヲ實施スルヲ得ス

(去) 千八百五十六年八月ペンシルバニアノジ

ヨングレリウ、ゲリー、サンノンノ任ヲ繼ク時  
ニ域内大ニ亂ルゲリー百折撓マス力ヲ盡シ  
テ其秩序ヲ復セント欲スト雖レ遂ニ果サス後  
チカンサスノ地方法官レコンプトノ失體ヲ舉  
テ之ヲ黜ケンヲ政府ニ要ムト雖レ元老院ニ  
於テレコンプトヲ庇護スル者甚タ多シ是ニ於  
テ千八百五十七年三月知域ゲリー競ニ其職  
ヲ辭ス是時ニ當テブカナン大統領タリミスシ  
ツピーノロバルト、ゼー、ウオータルヲ以テ之ヲ  
代ラシム

(六) 千八百五十八年六月更ニ代議士ヲ撰定シテ憲法ヲ議定セシム而シテ自由州ノ徒ミナ以テ為ラク公正ノ撰擧ヲ得ル未タ期ス可カラサルナリト概子之ニ與ラス其會場ハレコムトンニシテ憲法ヲ立テ役奴ヲ許ス是ニ於テ人心大ニ激動ス知封ウオークル痛ク其非ヲ鳴ラシ直ニワシントンニ至テ其裁可スヘカラサル所以ヲ切論セントス然ルニ未タ其地ニ至ラサルノ前國會ニ於テ己ニ之ヲ可決シ終ニ大統領ノ允可ヲ得タリ後チ幾モナク知封ウオークル其職ヲ

辭シカリフオルニアノゼームスグブリウダン  
ブル之ニ代ル  
(五) 千八百五十八年コノ憲法ヲ公布スルニ及テ之ヲ是トスルモノ一萬余人ノ多キニ至ル是ニ於テデンベル幾モナク勇退シホハイオノサミウルメダリー其後ヲ承ク  
(四) 千八百五十九年七月更ニ又タ代議士ヲ撰テ憲法會議ヲウイアドットニ開キ以テ憲法ヲ定メ役奴ヲ禁ス封民ノ之ヲ是トスルモノ四千余人ノ多キニ至ル千八百五十九年十二月六

日憲法ニ遵フ知封ノ撰舉會ヲ開キテヤールス  
ロビンソンヲ以テ其職ニ任ス

(世) カンサスノ形情詭譎風ヲ成シ慘闘多年封  
内困弊ヲ極ム後ヲ終ニ國會ノ批准ヲ得テ版圖  
ニ入り一自由州ト為ル實ニ千八百六十一年一  
月ナリ

(世) 千八百五十七年民政黨ノ候補ゼームス  
カナン百七十四票ヲ得テフランクリンピール  
スノ任ヲ紹ク而シテ共治黨ノ候補ジヨン  
フレモント八百十四票ヲ受ク

(世) 北亞聯邦ノ人民分裂シテ民政及ヒ革命ノ  
二大政黨ヲ成ス年已ニ久シ然ルニ國會ニ於テ  
彼ノミツソリ一讓和令ヲ廢棄シテヨリ革命黨  
負之カ首唱ト為リ一政黨ヲ組織シ名ケテ共治  
黨ト曰フ之ヲ要スルニ其黨旨ハ更ニ自由封内  
ニ役奴ヲ行フヲ拒ムニ在リ然リ而シテ人ミナ  
國會ニ於テ各州役奴ノ事ニ干涉スルノ權ナシ  
ト為スニ至レリ

(世) デカナン治ヲ主ルノ日國人役奴ノ可否ヲ  
論シ國中常ニ擾動ス猶ホピールスノ時ノ如ク

然リ就中其特ニ較著ナルモノハカンスニ於  
テ難件ノ踵ヲ接シタルトビルヂニアニ於テジ  
ヨングロウンノ侵掠ヲ縱ニシタルトノ二事ナ  
リ而シテ其任期ノ將ニ滿チントスルニ及テ兵  
ヲ動シ武備ヲ整ヘ忽チ大叛ノ作ルニ會シタル  
カ如キ其最モ甚シキモノナリ内閣議員ノ三名  
コツブトンプソン及ヒフロイドノ如キ役奴諸  
州ノ分離スルニ方テ首トシテ其事ニ與リ猶ホ  
其職ニ在ルノ日國用ノ軍需兵器ヲ南部諸州ニ  
送り以テ其勢ヲ援ク殊ニフロイドハ軍務尚書

タリ故ニ與テ最モ力アル者ナリ

(其) 千八百五十九年十月十六日ジヨン、フロウ  
ン白人十五名黒奴五人ヲ率テピルヂニア州ノ  
境ヲ侵ス其子二人隊中ニ在リ而シテ陽ニ其奴  
隷ヲ救フヲ名トシ其實ハハーペルスフェリー  
ノ國用武庫ヲ奪ヒ府城ノ大半ヲ略シ且ツ府民  
若干人ヲ拿テ質ト為ス

(其) ビルチニア州ノ内外人心忽チ洶々タリ次  
日國兵并ニ郷勇ヲ合セ千五百人此地ニ至リ叛  
徒ヲ戡定セントス



(其) グロウン兵ヲ率ヒ質ヲ携ヘテ武庫ニ據ル  
官兵乃チ之ヲ奪フ敵兵死スルモノ十二人グロ  
ウン以下四人擒ニ就ク一旦遁走シテ終ニ復タ  
拿ヘラル、モノ二人アリグロウン以下六人糺  
彈ヲ經テ竟ニ絞刑ニ處セラル

(其) コノ暴舉アリテ以來闔國ノ人心大ニ激動  
ス其ノ自由州タルト役奴州タルトヲ問ハス世  
ヲ擧テ其非ヲ鳴ラサ、ルナシ

(其) グロウンハコン子クチクツトノ産ナリ幼  
ナルヨリ性剛直ニシテ深ク天道ヲ信シ多年オ

ハイオニ在リ銳意廢奴論ヲ唱フル日己ニ久シ  
嘗テカンサスニ於テ自ラ首唱ト為リ其子六人  
ヲ從ヘテ役奴ノ設置ニ抗シ其子一人之ニ死ス  
(其) グロウンノ役奴ヲ非トスルヤ一種偏狂ノ  
所為ニ似タリ故ニ人或ハ之ヲ以テ狂夫ト為ス  
ニ至ル然ルニビルダニアノ知州ワイス曾テダ  
ロウント面識アリ其人ト為リヲ評シテ曰ク世  
人往々グロウンヲ以テ狂人ト為スハ謬見ナリ  
グロウンハ聰明沈重ニシテ凜乎トシテ冒不可  
カラサルハ威嚴アリ余ハ深ク其稟性ハ廉直ナ

ルヲ信スト

(世) グロウンノ斷案宣告ヲ受クルヤ自若トシテ喜ヘル色アリ書ヲ眷族朋友ニ寄セ自ラ以テ義ニ死スルノ徒ト為ス其刑ニ就クヤ從容トシテ動カス其舉ヲ非トスル者ト雖且ツ歎稱スルニ至ル

(世) 初メ聯盟國憲ヲ定メテヨリ降テ數年ノ後ニ至ルマテ南北諸州役奴ノ可否ヲ論スル大差アルナシ皆ナ之ヲ以テ社會ニ道德ニ政治ニ九テ害アルモノトス

(世)

ワシントンゼツフェルソンマデソンパトリツキヘンリーマルシヤルピンク子ー其他南部諸州俊逸ノ政事家ニ至テハ其見ル所概子斯克ノ如シ故ニ人ミナ其久シカラスシテ廢絶ニ屬セントテ期望セリ

(世) 然ルニ千七百九十四年ホワイト子ー清綿<sup>コックトキン</sup>械ヲ創製シテヨリ作綿ノ業經國ノ要務ト為リ奴隸ノ價益貴キヲ致ス是ニ於テ南部諸州忽チ役奴ヲ法ヲ擴張繼續セントスルニ汲々タリ是ヨリ役奴ノ事不幸ニシテ政治社會ノ一論題ト

為り國中為ニ動ク終ニ自由諸州役奴諸州ト争  
端ヲ發キ相敵視スルニ至ル

(望) 嚮ニミツソリー州ノ版圖ニ入ルヤミツソ  
リ一讓和令成ル是時ニ當テ彼此相敵スルノ情  
已ニ顯然タリカンサス及ヒ子ブラスカノ封域  
ヲ編制スルノ議案ヲ可決シ以テ此讓和令ヲ廢  
棄スルニ迫テ更ニ甚シキヲ加フ

(興) 千八百六十年北亞聯邦第十六任ノ大統領  
ヲ撰舉ス是ヨリ先キ内外事ナク國勢隆興ス然  
リ而シテ此撰舉ヲ行フニ及テ國內民政共治ノ

二黨ニ分レ其争最モ激烈ナリ之ヲ要スルニ役  
奴ノ事之ヲシテ然ラシムルナリ

(世) 民政黨ハ役奴諸州ノ左袒スル所ニシテ其  
勢國中ヲ壓スル久シ然レモ是時ニ當テ一意共  
同シテ大統領ノ候補ヲ出スヲ得ス終ニ分レテ  
更ニ二派ト為リ南派ハ銳意以テ役奴ノ盛大ヲ  
計ルニ汲々タリジヨニシ、ブレツケンリツヂ  
ヲ以テ之カ候補ト為ス又タ一派ハステヘン、エ  
ー、リンウグラスヲ以テ候補ト為シ共治黨ハア  
ブラーム、リンコルンヲ以テ候補トス而シテ第

四黨ヲ聯盟。黨ト名ク其候補ハジヨン、ベルナリ  
 (共) 千八百六十年十一月六日終ニ大統領ノ撰  
 舉ヲ行フ幸ニシテ暴舉アルニ至ラスアブラー  
 ム、リンコルン百八十票ヲ得テ大統領ト為ル  
 レツケンリツデハ七十二票ベルハ三十九票ド  
 ウグラスハ十二票ヲ得タリ

第九章

リンコルンノ主治 聯邦分  
 離 叛逆ノ亂 即チ紀元後  
 千八百六十一年ヨリ千八百  
 六十六年ニ至ル

(一) 南部諸州反徒ノ巨魁タルモノ世ニ公告シ  
 テ曰クリンコルンハ偏頗ノ候補ナリ故ニ其撰  
 舉ハ我黨分治ハ安固ヲ害スルモハナリ我黨ハ  
 所謂ル州權ニヨリ分離ヲ唱フル茲ニ年アリ今  
 ヤ勢ヒ分離ハ己ハ可カラサルニ會セリト而シ  
 テ千八百六十年十二月二十日ヲ以テソウスカ  
 ロリナノ州民相會シ其議決スル所ヲ公告シテ  
 曰ク北亞聯邦ハ名稱ヲ以テ彼此互ニ聯結スル  
 所ハ盟約ハ己ニ之ヲ解破セリト遂ニ其期スル  
 所ヲ達スミスシツピーフロリダアラバマゼオ

ルデアロイシアナテキサスビルヂニアアルカ  
ンサスノルスカロリナ及ヒテン子ツシーノ諸  
州忽チ其舉ニ倣フ

(二) 千八百六十一年二月四日分離諸州ノ代議  
士アラバマノモントゴメリーニ會シ假設政府  
ヲ立テ名ケテ北亞盟邦ト曰フミスシツピーノ  
ゼツフェルソンダズス之カ大統領タリゼオル  
ヂアノアレキサンドル、エツチステヘン之カ副  
統領ニ任ス後チ幾モナク之ヲ廢シ更ニ永設政  
府ヲ立テ其憲法ニヨリ首官ヲ再撰シテ其任期

ヲ千八百六十二年二月二十二日以後六年間ト  
ス

(三) 二十州ノ代議士相集テ講和公會ヲ設ケ二  
月ヲ以テワシントンニ會スル三週日ニ及フ然  
リ而シテ國會其議ヲ容レス三月ニ至リ盟邦政  
府委員ヲワシントンニ遣リ以テ分立ノ認可ヲ  
受ク併セラ其難件ヲ議定セシメントス大統領  
咸ク之ヲ斥ク

(四) ノ物情洵々正ニ斯クノ如クナルノ時ニ當テ  
リンコルン就任ノ大典ヲ舉ク其式場ニ臨ムテ

所見ヲ陳フルヤ語氣自ラ溫和ナリト雖氏聯邦ノ完全ヲ維持シ兼テ國法ヲ履行スルニ至テハ斷乎トシテ動カサルノ精神ヲ示セリ

(五) 分離諸州ノ元老及ヒ代議士ミナ國會ヲ退キタリト雖氏分離ノ說ヲ公言スルノ徒ニシテ猶ホ其官職ヲ保ツモノ少シトセス相謀テ兵艦ノ實用ニ適スルモノ僅ニ二三隻ヲ内國ニ留メ陸兵ハ悉ク之ヲ西邊ニ散屯セシム是ニ於テ海陸兩軍ノ將士多ク叛徒ニ黨ス既ニシテ盟邦政府盡ク其所属ノ官物ヲ奪フ即チ造幣局關稅局

譯。造。船。局。巡。邏。船。軍。器。局。及。ヒ。城。堡。ノ。如。キ。是。ナリ但タピツケンス城タイロル城フロリダ沿岸ノゼツフェルソン城及ヒチャールレストウン港内ノソントル城ニ至テハ未ク之ヲ略スルヲ得サルノミ是ヨリ先キ南部諸州ヨリ出テ、内閣ニ列シタルモノ縱ニ財政ヲ紊亂シタルヲ以テ北部諸州ニ於テハ人々相疑テ信憑地ヲ拂ヒ政府ヲシテ困難ノ極ニ至ラシメタリ  
(六) 一月叛徒ソントル城ノ軍需ヲ奪ヒ去ント欲シテ遂ニ果サス是ニ於テリンコルン告諭ヲ

發シ再度ノ來襲ヲ警ム然ルニ敵將ピールベールガルド已ニチャールレストウンニ在リソントル城ヲ圍ミ降ヲ説ク守將ロベルト、アन्दルソニ城兵七十人ヲ督シ敢テ降ラス是ニ於テ四月十二日ヲ以テ敵兵之ヲ砲撃シ延テ二日間ニ及フアन्दルソン十五日ニ至リ力盡キテ竟ニ降り城ヲ去ル

(五) 北部ノ人心奮激措カス四月十五日大統領兵負七萬五千ヲ募ル忠誠愛國ノ諸州義ニ勇ミ忽チ響應ス四月十九日一隊ノ兵士バルチモ

ルヲ過キテワシントンニ至リ之ヲ守ラントス一團ノ頑民途ニ之ヲ要撃シマツサキセツツノ州民二人ヲ殺ス血ヲ注クノ慘劇即チ其端ヲ茲ニ發スルナリ是レレキシントンノ交戦以還正ニ八十六年ナリ

(六) 四月叛兵ハーペルスフェリーノ武庫及ヒノルフォルクノ造船局ヲ奪フ後チ幾モナクビルヂニアヲ貫通シテ其兵ヲ以上ニ處ノ間ニ散布シ本據ヲマナツサスニ置ク副將スコット官兵ヲワシントン府外ニ聚團シ對岸ノ峻嶮ニ據

テ之ヲ守ル

(九) 將軍ビ、エフ、ボットレル兵ヲ督シテモン  
ロウ城ヲ發シ六月十日ビツグベツセルニ敗ル  
參軍ワルラス六月十一日叛兵ヲビルヂニアノ  
ロム子一ニ破ル七月上浣將軍パツテルソンマ  
タ叛兵ヲセナンドアノ溪間ニ走ラス是時ニ當  
テ將軍ジオーヂ、ビ、マツクレランヒリツプ  
及ヒリツチ、モン、タインニ戰テ大ニ勝チ六月敵  
兵ヲベベリ一ニ下シ遂ニウエスト、ビルヂニア  
ノ全部ヲ略ス

(十) 將軍スコットノ令ヲ奉シ將軍イルウイン  
マゲドウエルワシントンヲ發シ進テマナツサ  
スノ敵兵ヲ逐ハント欲ス硝兵ヲセントルヒ  
ルヨリ發ンテ敵情ヲ窺ハシメ全軍終ニ將軍バ  
オルガード帥ユル所ノ敵兵トビウハランニ戰  
ヒ最モ激烈ヲ極ム時ニ七月二十一日ナリ叛兵  
先ツ敗ル然ルニ將軍ジオーヂ、ビ、マツクレラン  
ン來リ援フ會將軍パツテルソンセナンドアノ  
溪間ニ在リ之ヲ拒テ克タス官兵竟ニ敗レ匆々  
ワシントンニ走ル死傷甚ク衆シ



西ノ國史 卷二十一  
(土) 是時ニ當テ叛兵リチモンドヲ以テ首府ト爲シ勝ニ乘シテ勢威大ニ加ハル北部ニ於テモ之ニ激シ銳意新兵ヲ募ル七月二十二日將軍マツクレランイーストビルヂニア屯營ノ官兵ヲ督シ秋冬ノ間軍備ヲ整ヘ春ヲ候テ將ニ戰ハントス爾後交戦相踵ク將軍ウイリアム、エス、ロス、クランズ將軍フロイド帥エル所ノ叛兵ヲカルニフエツキス、フエリーニ破リ將軍エンピシ、バインクス官兵ノバールス、ブリツフヲ過テポトマツク河ヲ濟ルヲ要撃セント欲シ却テ大ニ敗レ

タルカ如キ就中ソノ較著ナルモノナリ  
(土) ミツソリーニ於テハ其公會及ヒ立法部ノ議決ヲ以テ分離ヲ肯セスト雖レ盟邦政府兵ヲアルガシサス及ヒテキサスヨリ發シ以テ其知州ヲ援ケ分立ヲ計ラシメントス七月五日參軍フランズ、ジーゼル、カルセー、ゲニ戰テ一場ノ勝ヲ得タルモ勢屈シテ竟ニ退軍ス是ニ於テ叛兵縱ニミツソリーノ南西ヲ蹂躪ス五月將軍ナサニツド、オンシント、ロイスノ武庫ヲ保安シ以テ護州ノ任ヲ全フシスブリング、スイールドニ在

テ援軍人至ルヲ待ツ而シテ援軍至ラス八月十日ウイールソンスクリーキニ至リ叛兵ト戦テ竟ニ之ニ死ス其兵支フル能ハスサイゼル之ヲ將テ退軍ス參軍ゼームスエト、ムルリガンレキシントンヲ守ル敵將ステルリング、イト、フライス之ヲ攻ムムルリガン力戦之ヲ拒キ竟ニ降ル而シテ十月遂ニ之ヲ復ス是ヨリ先キジョン、シ、フレモント一時兵ヲ督シ此地ヲ守ル十一月將軍ロバルト、ホントル來リ救フ

(註) 千八百六十一年ノ夏大ニ海軍ヲ擴張シ氣

艦ヲ造リ或ハ之ヲ購フ其數甚タ多シ乃チ之ヲ沿岸ニ列子テ四月十九日公告スル所ノ封港ヲ實行セント欲スルナリ此年盛ニ甲鉄艦ヲ造リ戰狀隨テ一變シ海戰史中其事特ニ著ハル八月二十九日水師提督サイラス、エツチ、ストリンカム及ヒ將軍ボットレル兵ヲ帥テハットラスノ諸城ヲ拔ク十一月七日水師提督エス、エフ、テウポイント及ヒ將軍チー、ダフリウ、シエリマンマタ兵ヲ督シテロヤル港ヲ略ス是ニ於テ沿岸ノ二要地僉ク官兵ノ所有ニ歸ス

(五) 大統領ノ徵召ニ應シ七月四日ヲ以テ國會  
特ニ其議ヲ開キ兵員五十萬ヲ募リ軍費五億弗  
ヲ出スニ決ス府郡及ヒ各州マタ巨額ノ金ヲ損  
シ以テ軍資ニ充ツ

(五) 千八百六十二年ノ歲首ニ當リ叛兵ノ數未  
タ三十五萬ヲ超ヘス而シテミツソリーケント  
キー及ヒウエスト、ビルチニアノ一半并ニイ  
スト、ビルチニア及ヒフロリダ以外南方諸州ノ  
全部ヲ略ス將軍ジヨンストン精兵ヲ帥テマナ  
ツサスニ在リミスシツピー及ヒ其支流ヲ占有

ス

(其) 官兵ノ數大約四十萬將軍スコット職ヲ辭  
シ將軍マツクシラン其中二十萬ヲ帥テワシン  
トン府外ニ在リ將軍ウールモンロウ城ニ在リ  
ロセクランヌウエスト、ビルヂニアニ在リ將軍  
ドン、カルロス、ビウルケントキーニ在リ將軍イ  
ウリセス、エス、グラントカイセ府外ニ在リテ各  
其一隊ヲ督シ將軍ヘンリー、ダブリウ、ワルレッ  
ク西部旅團ノ元帥タリ水師提督エー、エツチ、フ  
ートマター一隊ノ砲艦ヲ帥テカイロニ在リ以テ

西方諸流ヲ守ル而シテ數艘ノ兵艦已ニ墨西哥灣ニ碇泊シ將ニ以テ沿海各地ヲ攻メント欲ス

(七) 一月將軍エー、イー、ブルンサイド及ビ水師提督エル、エム、ゴルツボロウ一隊ノ戰艦ヲ將テハツトラスノ海門ニ入り暴風ニ遭フト雖氏奮戰シテ遂ニロウノーク嶋ヲ略ス後チ幾モナクノルスカロリナノニウボルン及ヒベオフオルトヲ抜ク而シテプラスキ城ハサバンナ第一ノ要害タリ四月兵ヲロヤル港ヨリ發シ遂ニ之ヲ取ルペンサコラマタ官兵ノ占有スル所ト為ル

(六) 敵兵ノルフオルクニ於テ兵艦「メルリマツク」號ヲ鑲装シ撞機ヲ備ヘテ三月八日ゼームス河口ノ艦隊ヲ襲撃シ遂ニ「クンバルラント」號ヲ轟沈ス官艦「コングリタ」號奮テ之ニ抗リ竟ニ退ク其夜恰モ好シエリクソンノ創製ニ係ル一等甲鉄艦「モニトル」號ニウ、ヨークヨリ來リ明日「メルリマツク」號ヲ撃ツ「メルリマツク」號敗レテノルフオルクニ退ク

(五) 大統領リンコルン二月二十二日ヲ期シ總軍ニ令シテ一舉進撃セシム將軍マツクレラニ

ウーク及ヒゼームス二流ノ間ニ在ル所ノ半島  
ヲ經テ將ニリチモンドヲ攻メントス叛兵乃チ  
リチモンドニ退クマツクレランモンロウ城ヲ  
過キ兵ヲ帥テヨークトウンニ向ヒ之ヲ圍ム一  
月ニシテ五月四日ニ至リ遂ニ之ヲ抜ク次日マ  
タ叛賊ヲウイリアムスボルグニ破ル將軍ウー  
ルモンロウ城ヲ發シ十日ニ至リノルフオルク  
ヲ占有ス明日賊兵自ラメルリマツク號ヲ爆裂  
シテゼームス河ヲ去リ官艦ノ溯入スルニ任ス  
(年) 五月二十五日將軍マツクレランチカツホ

ミニー河ヲ濟リ河畔ノフハイアオークスニ奮  
闘シテ勝敗決セス賊兵死スル者更ニ多ク將軍  
ジョンストン傷ヲ負フ故ニ其未タウエスト、ビ  
ルゲニアノ役ニ從ハサルノ前將軍ロベルト、イ  
ーリー其任ヲ繼ク賊將トーマス、ゼー、ジャクソ  
ン及ヒリチヤド、イーウエルセナンドアノ溪間  
ニ於テ將軍フレモント及ヒバンクス帥エル所  
ノ官兵ヲ破リ將ニワシントンニ逼ラントス是  
時ニ當テマツクレランヨーク河ヲ過キテ本營  
ヲゼームス河畔ニ移サント欲ス賊兵路ヲ遮リ

テ援軍ヲ遣ルヲ得フ

(世) 是ヨリ奮戰相踵キ六月二十五日ヨリ七月一日ニ至ル之ヲ名ケテ七日ノ戰ト曰フメカニクスビーブルゴルド、ハーポールサバーヂステーション、ホワイト、オークス、ワンプ、及ヒマルベル、ハイルノ戰ノ如キ就中ソノ慘烈ナルモノナリ七月一日ノ黃昏賊兵戰ニ倦テリチモンドニ退キ官兵マタ死傷并ニ失踪スルモノ一萬五千人竟ニ營ヲハーリソン、スランゲンクニ布キ砲艦ヲ列子テ之ヲ守ル

(世) 是時ニ當テ大統領兵員六十萬ヲ募リ幾モナク其中更ニ三十萬ヲ撰拔シテ九月間服役シシム將軍ハルレツク之カ元帥タリワシントン及ヒウエスト、ビルヂニア屯駐ノ兵ヲ舉テ將軍ジヨン、ポープ督スル所ノビルヂニア旅團ニ合ス八月上浣敵將リー急ニ北進シテ來リ攻ムマツクレラン訓令ヲ奉シ半島ヲ去テポープト力ヲ協セ之ヲ拒ク

(世) 賊兵已ニラピダン河ニ至リ將軍ジャクソン及ヒイーウエル先驅ヲ督ス將軍ハンクスヤ

タルモンタインニ在リ之ヲ阻ム而シテ其中軍ノ至ルニ及テ將軍ポープマナツサス及ヒビウ  
ルランノ古戰場并ニカンチルリーニ戦ヒ力窮  
テワシントンニ退ク將軍ステバンス及ヒケール  
ンカンチルリーニ戦歿ス九月三日ポープ殘  
兵ヲ督シテワシントンノ硝堡内ニ在リマツク  
レラン來リ援フ

(廿) 將軍リーフレデリック及ヒハガルストウ  
ンヲ略シポトマツク河ヲ濟ル九月十四日ソウ  
スモンタインニ戦テ軍敗レアンチエタムクリ

ーキニ退ク是時ニ當テジヤクソンハーペルス  
フエリーヲ下シ守兵ヲ虜ニシ軍需ヲ奪フ而シ  
テリーニアンチエタムクリーキニ合ス十七日  
リー大ニ其地ニ戦ヒ軍敗レテ竟ニビルゲニア  
ニ退ク兵ヲ亡フ三萬人

(廿) 十月下浣ニ至ルマテ官兵猶ホマリーラン  
ドニ在リ是時ニ當テ賊將スチユアルト之ヲ圍  
ミ侵掠ヲ縱ニセントス而シテ官兵進テビルゲ  
ニアニ至ル將軍ブルンサイド將軍マツクレラ  
レノ後ヲ承ケフレデリックスボルグヲ經テリ

チモンドヲ攻メント欲シラツパハンノツク河ヲ濟ル敵兵稍之ヲ拒ク十二月十三日賊兵ノ要害ヲ襲ヒ竟ニ克タス兵ヲ亡フ算ナシ是ニ於テ再ヒラツパハンノツク河ヲ過キ復タ之ヲ攻ムルヲ為サス

(其) 千八百六十二年西部諸州ニ於テ大戰相踵ク一月參軍ガツフイールド賊兵ヲ東部ケントキーニ破リ將軍ジョーダエツチ、トーマスマタ大ニ之ヲマイル、スプリングスニ破ル賊將ゾルリコツフェル之ニ死ス二月將軍グラントテン

子ツシー河畔ノヘンリー城及ヒクンベルランド河畔ノド子ルソン城ヲ拔キ許多ノ軍需ヲ奪フフリト自ラ其砲艦ヲ督シ之ヲ援ク是ニ於テ賊兵竟ニケントキーヲ去ル

(其) 既ニシテ將軍グラントテン子ツシー河ヲ溯リ四月六日ピツツボルグ、ランデングニ至ル將軍エ、エスジョンストン及ヒゲ、チー、バオルガード大兵ヲ督シテ之ヲ襲撃スグラント執屈シテ竟ニ退ク兵ヲ亡フ算ナン其夜將軍ビウル援軍ヲ率テ至リ次日盡ク敵兵ヲ逐ヒ遂ニ其



地ヲ復ス是ヲシローノ戰トス慘烈言フ可カラ  
 ス而シテ賊兵ミツソリーノコリンスニ退ク將  
 軍ハルレツクシローノ戰ヲ經テシント、ロイス  
 ヲ發シ親ヲ兵ヲ督シテ其地ニ至リ之ヲ圍ム五  
 月廿六日激戰アリ賊兵コリンスヲ去ル是時ニ  
 當テ將軍オ、エム、ミツチエルアラバマノホン  
 ツビルルヲ略ス是ニ於テ賊兵據ル所ノ一鑿道  
 首線ヲ斷チ其交通ヲ阻ム  
 (六) 其夏賊兵銳意ケントキーヲ復セント欲シ  
 其地及ヒオハイオノ居民ヲシテ震慄シムト雖

氏竟ニ許多ノ財貨ヲ掠メケン子ツシーニ退ク  
 將軍ハルレツク元帥ニ任スルニ及テ將軍クラ  
 ントケン子ツシー駐在ノ兵ヲ督ス立秋將軍  
 ライス之ヲコリンスヨリ逐ハント欲シテ果サ  
 スイウカニ戰テ將軍ロセ克蘭スノ破ル所ト  
 為ル交戰數次終ニ賊兵ヲ逐ヒウエストケン子  
 ツシーヲ救フ十二月ニ至リ將軍グラントビツ  
 クスボルク以東ノ鑿道線ヲ切斷シ以テミスシ  
 ツピー河ニ入ラント欲シ軍竟ニ敗ル此時マタ  
 將軍ダブリウチー、シエルマン其地ヲ襲撃シテ

克タス十月將軍ロセンクランズオハイオニ至  
リ新軍ヲ編制ス後チ之ヲ帥テ將軍ブラツキス  
トニイ、ブラツグト東部テン子ツシーニ戰フ  
其十二月三十一日及ヒ千八百六十三年一月一  
日モルフレスボロウノ激戰ヲ以テ遂ニ之ヲ破  
ル

(先) 千八百六十二年三月八日アルカンサスノ  
ピア、リツヂニ於テ將軍サミウル、アールクルチ  
ース及ヒサイゼル將軍エールリーバン、ドルン  
プライス及ヒマツクロウ帥ユル所ノ賊兵ト戰

ヒ三日ヲ經テ遂ニ之ヲ破ルマツクロウ之ニ死  
ス此年早春賊兵ミスシツピー河心ノ第十號島  
ニ據リケントキーノコロンブスヲ去ル將軍ポ  
ープ對岸ナルミツソリーノニウ、マドリツトヲ  
發シ水師提督フートトカヲ協セ其島ヲ略ス砲  
擊二十三日ヲ經テ賊兵竟ニ去ルポー途ニ之  
ヲ要シ捕獲甚ク多シ後チ幾モナク賊艦ピルロ  
ウ城外及ヒメンヒスニ敗レ水師提督チャール  
スエツケ、タビスニ降ル

(三) 旗官ダビット、ジ、フハルラガット一艦隊

ヲ將テミスシツピー灣ニ入り將軍ボットレル  
督スル所ノ陸兵ト力ヲ協セニウ、オルレースヲ  
抜カント欲ス四月十八日ニウ、オルレース下流  
ノジヤクソン城及ヒシント、ヒリツフ城ヲ攻メ  
砲撃六日ヲ經テ遂ニ抜ク能ハスフハルラガツ  
ト乃チ其艦隊ノ一部ヲ督シテ城下ヲ過キ流ニ  
溯テ賊艦ヲ破リ二十五日終ニニウ、オルレイン  
スニ至ル是ニ於テ二城竟ニ水師提督ダ、ヂ、  
ポートルニ降ル而シテボットレルハニウ、オル  
レース屯在ノ兵ヲ督シフハルラガツトハ流ニ

溯リ五月十二日ナツチーズヲ略ス

(世) 千八百六十二年政府大ニ軍備ヲ張ル巨額  
ノ國庫銀券及ヒ有利公債ヲ發行シ更ニ租稅ヲ  
收利并ニ製造ニ賦課ス且ツ海關ノ稅額ヲ增加  
シ印稅ヲ各種ノ証書及ヒ商品ニ徵ス國人眉ヲ  
開クナシ蓋シ賊勢ハ益猖獗ヲ極メ國內黨心熾  
ニシテ貿易振ハス信憑地ニ墜チ外人或ハ亂ニ  
與ラントス此年ウ、エストベルヂニア版圖ニ入  
ル之ヲ要スルニ千八百六十二年ニ在テハ禍福  
相償フモノト謂フ可シ

四ノ三ノ一  
三十一  
(世) 千八百六十三年一月一日。放釋令ノ發行アリ而シテ其事特ニ著ハル大統領リンコルン元帥タルノ職權ニヨリ且ツ千八百六十三年九月二十二日頒布ノ示諭ニ遵ヒ天下ニ公告シテ曰ク何レハ地何レハ州ト雖モ奴ヲ役スル者ハ叛賊タリ而シテ其役ニ服シ奴ト為ル者ハ今後之ヲ解放ス可シト千八百六十二年國會ノ決議ヲ以テコロンビア地方ノ役奴ヲ廢シ兼テ國內各地ノ役奴ヲ禁ス三月徵兵令ヲ議定シ將ニ之ヲ實行セントスルニ至テ人心大ニ激昂ス七月十

三日ニウ、ヨーク府ニ於テ始テ抽籤ヲ行ヒ暴動三日ニ及フ財ヲ壞リ人ヲ殺ス少シトセス而シテ黒奴ノ死スルモノ特ニ多シ然レモニウ、ヨーク以外ノ地ニ於テハ兵力ヲ籍リテ之ヲ實施シタルヲ以テ抗拒甚シキニ至ラスシテ止ム

(世) 一月將軍ジョセフ、フリーケル將軍ボルンサイドノ任ヲ紹キポトマツク河畔屯在ノ兵ヲ督シテフレテリツクスボルクニ對向ス五月上浣ラツパハンノツク河ヲ濟リ大ニカンセルロスビルニ戦ヒ竟ニ敗ル賊軍ノ雄將石邊ストーンズシヤク

ソシ之ニ死ス此時マタ將軍ストーンマン騎兵ヲ督シテノルスビルゲニアヲ侵シ賊軍ノ交通ヲ斷ツ

(世) 六月ニ至リ將軍リー復ヒ北部ヲ侵シウイ  
ンチエストル及マルチンスボルグヲ抜キマリ  
ーランドヲ經テハルリスボルグニ逼ル其月下  
浣將軍ジヨーチ、ゲ、メード、ポトマツク河畔屯  
營ノ兵ヲ督シ進テ敵軍ノ先驅ヲ破ル而シテゲ  
ツツボルグノ慘聞アリ七月一日ヨリ三日ニ至  
ル一舉ニシテ之ニ勝ツ是ニ於テ輸贏ノ大勢已

ニ定マリ國人為ニ奮起ス又タ南西地方ニ於テ  
戰勝相踵ク將軍リー師敗レテラビダン河ニ走  
ルメード之ヲ追躡ス此年兩軍對立シテ僅ニ一  
ニ小戰ヲ行ヒタルノミ是時マタ將軍モルガン  
騎兵ヲ帥テインゲアナ及ヒオハイオヲ侵シ劫  
掠ヲ縱ニスモルガン俘ト為リ其徒マタ多ク擒  
ニ就ク

(世) 此年早春賊兵奮テノルスカロリナヲ復セ  
ント欲ス將軍ジヨインゲ、アオストル官兵ヲ督  
シテ守防最モカム四月水師後部提督デウボン

トソントル城ヲ攻メテ克タス是ニ於テ陸兵ト  
連衝スニアラサレハ遂ニ其抜ク可カラサルヲ  
証スルニ至レリ將軍キウエー、キルリモール乃  
チ陸兵ヲ帥テフォルリー嶋ニ上陸シ且ツモル  
リリース嶋上ニ砲臺ヲ築キ以テソントル城及ヒ  
チャールレストウンニ臨ムモルリース嶋上ノワ  
グ子ル城及ヒグレッツグ堡并砲連發ス官艦應砲  
シテ遂ニ之ヲ壓シ更ニ陸堡ト力ヲ協セソント  
ル城ヲ砲撃スル八月十七日ヨリ二十四日ニ至  
リ遂ニ其一側面ヲ破壊ス而シテワグ子ル城ヲ

攻撃スル再三嘗ナラス其第二戰ノ如キ最モ激  
烈ヲ極ム是時始メテ黑人ヲ從軍セシム九月ニ  
至リ遂ニ之ヲ抜クチャールレストウンノ砲撃ハ  
八月二十日ニ起リ其投降ノ日ニ至ルマテ時ヲ  
隔テ相踵ク

(其) グラントノミスシツピーニ於ケルシエ  
マンノビツクスボルガニ於ケル其動兵ノ狀ハ  
上文既ニ記ス所ノ如シ是レ皆テ敵壘ヲ抜クノ  
策ニ外ナラス是時ニ當テ將軍グラントテン子  
ツシー及ヒミスシツピー河畔屯在ノ兵ヲ合シ

テ之ヲ督シ猶ホ敵壘ヲ抜カント欲ス維時千八百六十三年ナリ將軍シエリマン及ヒ水師提督ポートルグラントノメンヒスヨリ至ルヲ候ツ而シテグラント未タ至ラス已ニアルカンサスノ營所ヲ抜ク是レアルカンサス河ニ入ルノ要喉ナリ乃チ兵ヲビツクスボルグノ上流ミスシツヒー河畔ニ聚團ス新漕ヲ穿テ其河心ニ通シ以テビツクスボルグノ内地ヲ去ラント欲シ更ニ又タ一新漕ヲ拓キヤッツー河ニ浴テ其後軍ヲ進入セシメント欲スト雖氏遂ニ果サス是ニ於テ

グラント兵ヲ帥テミスツピー河ノ西岸ニ下リポートル艦隊ヲ督シテ堡下ヲ過キフハルラガットニ會スフハルラガットハ已ニ途ヲ同フシホドソン港ヲ經テ此地ニ至リタルナリ既ニシテグラント復ヒ河ヲ濟リテ急進シギフソン港ライモンドシヤクソンチヤンピオンハイル及ヒブレツキリーバリツヂニ於テ連戰咸ク勝テ遂ニ將軍ジョン、シ、マンベルトン督スル所ノ賊兵ヲビツクスボルグノ圍障内ニ逐ヒ自ラ其背後ノ要害ヲ占ム此時參軍グリーグソンテ

ン子ツシノラグランデヲ發シバートンクロー  
デヲ侵掠ス

(註)

ビツクスボルグヲ攻ムルニ回遂ニ抜ク能

ハスト雖氏砲擊間斷ナク延テ七月四日ニ至ル

原

即チ去ルノ日ナリ時ニペンベルトン守兵

ヲ率ヒ軍器ヲ舉テ將軍グラントニ降ル蓋シジ

ヨンストン内地ニ在テ軍需ヲ供スルヲ得サルヲ

以テナリ後テ四日ヲ經テホドソン港竟ニ將軍

バンククスニ降り全クミスシツピー河口ヲ開ク

(世)

將軍ロセ克蘭スマルフリースボロウニ

勝ツノ後チ猶ホ其地ニ在リテ時ニ或ハ征軍ヲ

發シ或ハ敵兵ノ來襲ヲ拒ク六月ニ至リ南進シ

テ賊兵ヲ逐フ是レ將軍ブラツグノ帥ユル所ニ

シテドツク河ヨリコンベルランド山ニ跨リゼ

オルデアノカツタノーガニ散屯スルモノナリ

此時賊兵其地ニ據ラント欲シ工ヲ起スト雖氏

ロセ克蘭スマンノ至ルニ及テ棄テ之ヲ去ル而

シテ幾モナク將軍ゼームスロンクストリート

ハビルデニアヨリジヨンストンハミスシツピ

ーヨリ並ヒ至リテブラツグヲ援ク皆ナビツク



スボルグ屯在ノ兵數百人ヲ率ヒ來ルナリ是ニ於テブラツグ九月十九日ヲ以テロセ克蘭スヲゼオルチアノチカモーガ河ニ襲撃シ激戰二日ヲ經テ遂ニ之ヲカツタノーガニ逐フ

(芟) 將軍グラント既ニテン子ツシーコンバルランド及ヒオハイオ屯在ノ合兵ヲ督シ急進シテロセ克蘭スヲ援フ是時ニ當テグラントブラツグニ逼リカツタノーガノ圍ヲ解カシメント欲シ銳意之カ備ヲ為ス十一月ニ至リ將軍セルマングラントニ合シ其二十三日ヲ以テ戰端

ヲ發キルークアウト山及ヒミツシヨナリー崗ニ連鬪シ延テ二十五日ニ至ル賊兵全ク敗レゼオルデアニ走ル此時ロングストリートチカモーガノ戰ヲ畢リ北進シテ將軍ボルンサイドヲノツキスビールニ圍ムボルンサイド力戰シテイースト、テン子ツシーヲ爭フセルマンカツタノーガヲ發シ疾ク至リテボルンサイドヲ救フ是ニ於テ十二月三日ロングストリート圍ヲ解テ山ヲ越ヘビルデアニ至リ復ヒリーニ合ス(甲) 千八百六十三年一月賊兵ミツソリーノス

プリンクワイールド及ヒハーツビルニ敗レ  
四月ギラルドウノ海角ニ敗ル七月四日マタア  
ルカンサスノヘレナニ敗ル九月十日將軍フレ  
デリツキスチールリツトルロツクニ入ル是ニ  
於テアルカンサス全州概テ聯邦政府ノ所轄ニ  
復ス是ヨリ先キ千八百六十二年ノ末ニ至リ將  
軍ボットレルバンクスノ任ヲ繼キ灣岸屯在ノ  
兵ヲ督ス千八百六十三年未タ五月ニ至ラスニ  
ウ、オurlレーンズ及ヒロイシアナノアレキサン  
ドリアニ跨ル所ノ沃野ヲ占取シ尋テホドソン

港ヲ攻メ遂ニ之ヲ下ス是レ前章已ニ記ス所ナ  
リ其ノ敵壘ヲ襲フ再三啻ナラス奮進激烈ヲ極  
ムト雖氏容易ニ拔ク可カラサルヲ以テ其事特  
ニ著ハル後チ將軍バンクス征軍ヲテキサスニ  
發スル二回一二敗戦ナキニアラスト雖氏遂ニ  
沿岸各地及ヒリオ、グラランド河畔ブロウンビル  
ニ至ルノ地ヲ略ス

(里) 此年官艦ミスシツピー河ニ戦ヒ及ヒチャ  
ーレストウンヲ攻ムルノミナラス沿海諸港ヲ  
封鎖スルヲ以テ勲績特ニ著ハルセオルデアノ

海岸ニ於テ(モン)トウク(ノ)ナスビール(ノ)號ヲ奪  
ヒ(ウー)ハウケン(ノ)號ノ(ア)トランタ(ノ)號ヲ獲タルカ  
如キ亦タ以テ二大著績トス

(聖) 千八百六十三年三月四日國會第三十七回  
ノ議ヲ畢リ大統領ヲシテ國財ヲ支出シ黑人ヲ  
兵籍ニ加ヘ及ヒ正兵義兵ノ服役ヲ齊一ナラシ  
ムルノ全權ヲ有セシム此年官兵ノ戰枝大ニ進  
歩シミツソリールアルカンサスケントキーテン  
子ツシー并ニロイシアナミスシツヒー及ヒフ  
ロリダノ大半テキサスノ境界ニシテリオグラ

ンド河畔ニ浴接スル所ノ地ミスシツピーノ河流  
ヲ略シ賊兵ヲ逐フ國人之ヲ聞テ相賀ス而シテ  
千八百六十四年ニ至リ賊亂平定ノ兆漸ク顯ハ  
ル  
(聖) 千八百六十四年二月二日將軍セルマン守  
兵ヲビツクスボルグニ置キ進テミスシツピーニ  
入リメリデアンニ至テ其鑿道ヲ破壊ス而シテ  
セルマンノンヒス在リ將軍エーゼー、スミスノ  
一分隊ヲ督シテ其地ニ至ルヲ候ツ而シテスミ  
ス至ラス是ニ於テ許多ノ財貨ヲ携ヘ數千ノ釋

奴ヲ率テビツクスボルグニ還ル此時マタ將軍  
ギールモーアヒルトンヘツドニ在テ征軍ヲフ  
ロリダニ遣リ將軍セイモールヲ以テ之カ將帥  
ト為シ賊兵ヲジャクソンビルニ破ル然レモ  
尋テオルスチーニ戰ヒ軍竟ニ敗ル

(罫) 此年早春將軍バンクス征軍ヲ發シロイシ  
アナノセルブポートヲ抜カント欲シ遂ニ克タ  
ス大ニ兵ヲ亡フ之ヲ名ケテ赤河遠征ト曰フバ  
ンクス大軍ヲ督シテニウオルレーヌヲ發シア  
レキサントリアニ至ル將軍スミスハビツクス

ボルクヨリ水師提督ポートルハ艦隊ヲ帥ヒ共  
ニ至リテバンクスニ合ス既ニシテナトチト  
チスヲ過キ砲艦ト相懸隔シテ伏兵ニ遇ヒ竟ニ  
敗ル賊兵再ヒフレীগザント丘ヲ襲撃スト雖モ  
竟ニ又タ將軍スミスノ破ル所ト為リ列ヲ亂シ  
テミスシツピーニ走ル舟師已ニセルブポルト  
ニ溯ルヲ得タリト雖モ難ヲ冒シテアレキサ  
ンドリアノ急流ヲ濟リ歸途ニ上ル而シテ全軍終  
ニミスシツピー河ニ還ル

(罫) 將軍スチールアルカンスニ在リ此舉ニ

與ラント欲シテ其敗ヲ聞キリツトル、ロツクニ  
 還ル途ニ兵ヲ亡フ甚ク衆シ是時ニ當テ將軍フ  
 オルルレストミスシピー河畔ニ在テ賊兵ヲ督  
 ス會ロイシヲナノ事アリ此機ニ乘シテ更ニウ  
 エスト、テン子ツシー及ヒケントキーヲ侵シテ  
 ン子ツシーノユニオン府ヲ抜キケントキーノ  
 パドカラ攻ム四月十二日ピルロウ城ヲ屠リ殘  
 虐ヲ極ム官兵半ハ黑人ナリ此月マタ賊將ホー  
 クノルス、カロリナノプライモースヲ抜ク叛艦  
 アルベルマール號ノ援クル所ナリ十月ニ至リ

副將クツシン之ヲ轟沈シ遂ニプライモースヲ  
 復ス

(異) 千八百六十四年官兵ノ舉動ニ於テ特筆注  
 目ス可キモノハ其中軍ノ方向顯然一定シタル  
 ノ一事ナリ是ヨリ先キ副都督ノ職ハ千八百六  
 十一年十月將軍スコットノ其任ヲ辭シテヨリ  
 空位ニ屬シタルヲ以テ國會ニ於テ更ニ之ヲ復  
 シ三月三日ヲ以テ將軍グラントヲ副都督トス  
 而シテグラント已ニハルレツクノ任ヲ紹キ元  
 帥ノ職ニ在リ乃チミスシツピーニ至リセルマ

シ帥ユル所ノ旅團ヲ督ス是レ將軍シヨン、エム  
スコツファイルド帥ユル所ノオハイオ分營將軍  
シヨード、エツ、トーマス督スル所ノクンベル  
ランド分營及ヒ將軍ゼームス、ビーマクメルソ  
ン統フル所ノテン子ツシー分營〔原前任セルマ  
ノ帥ユル所〕  
リヲ總稱スルナリ是時ニ當テ將軍ノード猶ホ  
ポトマツク河畔ノ屯兵ヲ督シ將軍ヒリツプ、エ  
ツチセリダン其騎隊ヲ帥ユグランド本營ヲ茲  
ニ定メ將軍シーゼルヲシテ西部ビルゲニアノ  
分營ヲ督セシメ將軍フオストルヲシテ南部ビ

ルゲニアノ分營ヲ守ラシム而シテ將軍ボツト  
レル大兵ヲ帥テモンロウ城ニ據ル  
(罢) 四月東西兩軍並ヒ進ミ一ハポトマツク河  
ヲ發シテリチモンドニ向ヒ一ハカツタノীগ  
ヲ發シテアタランタヲ攻メント欲シ大ニ之カ  
備ヲ為ス而シテ五月三日ヲ期シ大進撃ヲ令ス  
將軍リービルゲニアノオランダ郡ニ據ルロン  
グストリート兵ヲ將テ之ヲ援クポトマツク河  
畔ノ屯兵クルペツプルノ法衙ニ接シテ營ヲ設  
ク五月四日其地ヲ發シテラヒダン河ヲ濟リ南

進シテリリーノ右翼ニ逼リ遂ニ之ヲ走ラス尋テ  
 ウイルドル子ス及ヒスポツチルバニア法衛ノ  
 激戦アリリリー連戦ミナ敗ルグラント翼撃シテ  
 之ヲ追フリリー竟ニリチモンドニ退キ之ヲ守ル  
 (哭) 是時ニ當テ將軍ボツトレル精兵ヲ督シテ  
 ゼームス河ヲ溯リペートルスボルクヲ略シテ  
 之ニ據ラント欲ス而シテ遂ニ果サス途ニバル  
 ルガルドヲ要シ其ノリリーニ合スルヲ阻隔セン  
 ト欲シテ又夕果サスシチ、ポイント及ヒバル  
 モダ、ホンドレツトハアツポマトツキス及ヒゼ

ームス二流ノ合スル處ニ在リボツトレル乃チ  
 其地ニ據リ以テグラントノ至ルヲ候ツ六月中  
 浣グラント全軍ヲ帥テゼームス河ノ南岸ニ移  
 リ已ニペートルスボルグヲ圍ム而シテ其安危  
 ハ實ニリチモンドノ安危ニ係ルヲ以テリリー其  
 中軍ヲ舉テ赴キ衛ル此年之ヲ攻メ歲首ヨリ歲  
 末ニ至ルマテ奮撃相踵クロームスノ驛亭ステーションニ戰  
 テウエルドンノ鑊道ヲ奪ヒ北面ヨリリチモン  
 ドヲ襲フテ之ヲ抜カント欲シ及ヒハツチスラ  
 ンニ兵ヲ交ヘタルカ如キ就中ソノ重大ナルモ

ノナリ

(兎) 騎隊ヲ以テ屢リチモンドヲ襲撃ス而シテ  
 二隊連衝シテビルデア及ヒテン子ツシーノ  
 鉄道ヲ切斷シ以テラインチボルグヲ略セント  
 欲シ遂ニ果サスホントルシーセルノ任ヲ繼キ  
 第二軍ヲ督ス其退クニ及テ賊兵再ヒセナンド  
 アノ溪豁ヲ占取シ七月イールリー三タヒマリ  
 ーランドヲ略シ將ニヒラデルヒアバルチモー  
 ル及ヒワシントンニ逼ラントス賊兵終ニ其地  
 ヲ退キタリト雖氏秋季ニ至ルマテ猶ホポトマ

ツク河畔ノ上流ニ在リ是時ニ當テセリダン此  
 地屯在ノ分隊ヲ督シ十月十九日セダランニ  
 戰テ遂ニ之ヲ破ルイールリー其冬ヲ終ルマテ  
 寂然聲ナク復タ敢テ來リ侵サス

(辛) 將軍セルマン軍ヲ督シテカツタノーガニ  
 在リ五月五日進テアトランタニ向フアトラン  
 タハカツタノーガヲ距ル百四十英里ナリジヨ  
 ンストン途ニ之ヲ要シ交戦相踵クロサカダ  
 ラス及ヒケ子サウ山ノ如キ最モ激烈ヲ極ム七  
 月中浣セルマンノ軍アトランタニ至リ激戦ニ



日五...  
十日二十二日及ヒ二十八日ノ三回ニ及フ將軍  
マクヘルソン之ニ死ス環攻延テ九月一日ニ至  
ル時ニ將軍ジョン、ビル、フールドジョンストンニ  
代リアトランタヲ去ルセルマン即チ之ヲ略シ  
月末ニ至ルマテ專ラ軍需ヲ貯ヘ兵員ヲ補充ス  
是時ニ當テフールド官兵ヲ襲ヒカツタノীগ及  
ヒナスビルノ交通ヲ斷タントス然ルニ東海  
ノ濱岸ヲ去テ終ニアラバマニ進軍スセルマン  
トーマスヲテンチツシーニ留メ以テフールドノ  
來襲ニ當ラシム而シテ自ラ直ニアトランタヲ

去リ進テ海岸ニ向フ其事特ニ史乘ニ著ハレ名  
ケテ向海進軍ト曰フ

(至) セルマンノアトランタヲ去リタルハ實ニ  
十一月十五日ナリ精兵六萬ヲ帥ユ而シテ其右  
翼ハ將軍オリ、オリ、ホワード之ヲ督シ缺道ニ沿  
テマソンニ向フ其左翼ハ將軍ヘンリト、ダブリ  
ウ、スロウコム之ヲ將ヒ齊シク缺道ニ從テオウ  
グスタニ至ラントス然ルニ故ヲニ途ヲ避ケテ  
其處ニ至ラス遂ニミルレッツデビルヲ略シ左  
右兩翼ミルレンニ至テ相合シ進テサバンナニ

向フ十二月十日終ニ其地ニ達シ尋テマクアー  
 リストル城ヲ抜ク是ニ於テ將軍セルマン沿岸  
 碇泊ノ艦隊ト聯絡ヲ通シ官兵ノ戦線已ニサバ  
 ンナニ連及ス賊將ウイリアム、ゼー、ハーヂーニ  
 十日ノ夜ヲ以テ竟ニ之ヲ去リ兵ヲ率テチャー  
 レストウンニ走ル

(至) 是時ニ當テ將軍フードセルマンノアトラ  
 ンタヲ去ルニ乗シテスコットフィールドヲ襲フ  
 スコットフィールドハテン子ツシーノフラク  
 リンニ在リ十一月三日ノ激戦ヲ以テセルマン

ヲナスビールニ走ラシ尋テ之ヲ圍ム然リ而シ  
 テ竟ニトーマスノ破ル所ト為ル秋季ニ至リ官  
 兵屢ロイシアナ及ヒテキスサスヲ侵掠スプラ  
 イスアルカンサスヲ發シテミツソリーヲ伐チ  
 遂ニ克タス東部テン子ツシーニ於テ小戦止ム  
 ナシ

(至) 千八百六十四年大ニ舟師ヲ擴張シ沿海諸  
 港ヲ封鎖シ及ヒ陸兵トカヲ協ヤテ最モ功アリ  
 此年早春攻伐ノ計畫ハ殘餘ノ賊港ヲ抜クニ在  
 リ八月五日水師後部提督フハルラガットモビ

一ル灣ニ戰テゼームス及ヒモルガン二城ノ砲  
臺ヲ毀チ更ニ進テ上流ノ賊艦ヲ襲ヒ遂ニ之ヲ  
壞ル就中〔チンテツシ〕號ノ如キ強堅ヲ極ムル  
モノナリ是ヲ官艦賊ヲ破ルノ一大功蹟トス後  
チ遂ニモビールノ外衛タル前陳ノ二城ヲ下ス  
將軍ゴルドン、グランゼル陸兵ヲ帥テ之ヲ援ク  
千八百六十四年十二月國會乃チフハルラガツ  
トヲ以テ水師副提督ノ職ニ任ス  
(五) 此年賊艦三隻竟ニ暴行ノ跡ヲ絶ツ是ヨリ  
先キ賊艦〔アラバマ〕號米國ノ貿易ヲ障害スル少

シトセス而シテ六月十四日チエルボルクノ近  
海ニ於テ官艦〔ケールセルヂ〕號ト戰フ僅ニ一時  
半許ニシテ終ニ轟沈セラル賊艦〔フロリダ〕號ハ  
バヒアノ中立港ニ於テ官艦〔ワチセツト〕號ノ奪  
フ所ト為リ賊艦〔ゼオルデア〕號ハ葡萄牙ノ海岸  
ニ接シテ官艦〔ナイアガラ〕號ノ獲ル所ト為ル  
(五) 十一月リンコルン再ヒ大統領ニ任ス將軍  
マツクレラン反對黨ノ候補タリ十月三十一日  
子バダ州格ニ列ス此時票ヲ投スルモノ通計二  
十八州アリ而シテニウゼルセーデラワル及ヒ

ケントキー以外各州ミナリニコルンヲ推撰ス  
 千八百六十四年ノ末ニ至リ南部諸州ノ勢焰漸  
 ク衰フ蓋シ人命ヲ墮シ財貨ヲ喪フ其數量ル可  
 カラス之ニ加フルニ墨西哥灣岸ノ諸州大西洋  
 頭ノ諸州ト分裂シタルヲ以テナリ然レモ官兵  
 ノ地ヲ略スル其區域未タ前年ニ加フルヲ見ス  
 (癸) 千八百六十五年ニ至リ交戦ノ地僅ニ三州  
 ニ止リ官賊兩軍奮闘以テ輸贏ヲ決セント欲シ  
 之カ備ヲ為ス是時ニ當テリリーチモンドニ在  
 リ元帥ノ職ニ任スジョンストン訓令ヲ奉シテ

ソースカロリナニ向ヒリチヤード、タイロルフ  
 ードノ任ヲ繼テアラバマ及ヒミスシツピーニ  
 至リ將軍スコツファイールドノルス、カロリナノ  
 軍ヲ督ス是ヨリ先キ將軍ギールモリアビルガ  
 ニアニ在リ又タソースカルリナニ至リテ將軍  
 フオストルヲ救フ  
 (癸) 千八百六十五年兩軍先ツノルス、カロリナ  
 ニ戦フ水師後部提督ポートル強大前古未曾有  
 ノ艦隊ヲ帥ヒ千八百六十四年十二月二十五日  
 ヲ以テ大ニフイツシエル城ヲ砲撃ス其地ケ

プ、フ、エ、ア、ノ、河、口、ニ、在、リ、テ、實、ニ、ウ、イ、ル、ミ、ン、ト、ン  
ノ、一、要、害、タ、リ、是、時、ニ、當、テ、將、軍、ボ、ツ、ト、レ、ル、陸、兵  
ヲ、督、ス、而、シ、テ、其、遂、ニ、攻、ム、可、カ、ラ、サ、ル、ヲ、悟、リ、菴  
菴、敢、テ、進、マ、ス、延、テ、一、月、十、五、日、ニ、至、ル、時、ニ、舟、師  
復、タ、之、ヲ、砲、擊、シ、將、軍、ア、ル、フ、レ、ツ、ト、エ、ツ、チ、テ、リ  
一、陸、兵、ヲ、率、テ、賊、壘、ヲ、抜、ク、既、ニ、シ、テ、フ、イ、シ、エ、ル  
城、竟、ニ、降、リ、自、餘、ノ、諸、城、マ、タ、尋、テ、陷、ル、後、チ、幾、モ  
ナ、ク、ウ、イ、ル、ミ、ン、ト、ン、ヲ、抜、キ、終、ニ、其、港、口、ヲ、封、鎖  
ス

(壬) 是時ニ當テ將軍セルマン南北カロリナヲ

伐ツ一月二十二日サバンナヲ發シ敵ヲ欺テ二  
月二日オランダボルグニ至リ終ニ其十七日ヲ  
以テコロンビアニ達ス故ニ敵兵ソノ真ニ向フ  
所ヲ審ニセス既ニシテセルマン賊兵ヲ兩斷シ  
其虚ニ乘シテ將軍ハルデーヲシテチャイレス  
トウンヲ抜カシム守將キールモーア黑人ヲ率  
テ之ニ據ルセルマン更ニ進テ三月三日チエラ  
ウニ達シ十二日ノルスカロリナノフハエツト  
ビールニ至リ二十三日ゴルツボロウニ着ス將  
軍テリーハウルミントンヨリ將軍スコツファイ

一ルドハニウバルンヨリ各其地ニ至リテセル  
マンニ會ス三月セルマン其兵ヲ安息セシム以  
テグラントトカヲ協セ共ニ進マント欲スルナ  
リ是ヨリ先キグラントセルマンノ將ニ至ラン  
トスルニ當テリト兵ヲ交ヘ終局ノ輸贏ヲ決  
セント欲シ專ラ之カ備ヲ為ス

(堯) 二月二十七日將軍セリダンウインケエス  
タトルヲ去リセナンドアノ溪豁ヲ經テストウ  
ントル在營ノイールリーヲ逐ヒ險岫ヲ越ヘテ  
カルロツテスビールニ至ル途ニ缺道ヲ壞リ運

河ヲ毀チ三月二十八日終ニグラントニ合ス是  
時ニ當テグラントノ軍據ル所ノ戰線三十英里  
ニ及フゼームス河ノ北ニ方リリチモンドニ接  
スル所ノチャンピンスフハームヨリベルモダ  
ホンドレツトヲ貫通シペートルスホルグヲ周  
テハツチエルスランニ至ル而シテ其中軍ハ戰  
線ノ左側ニ在リ壘ヲ固メ壁ヲ高フシ以テ之ニ  
據ル敵兵ステードマン城ヲ襲ヒ遂ニ之ヲ拔ク  
後チ之ヲ回取スト雖其人命ヲ殞スル幾百ナル  
ヲ知ラス連線ノ官兵日ニ賊壘ヲ攻撃スルモノ

相踵テ四月一日ニ至ル彼我死傷甚タ衆シ時ニ  
 將軍セリダングラントノ左翼ニ在リ賊兵ノ右  
 翼ヲ衝キ奮闘シテ遂ニリチモンドヲ抜ク交戦  
 延テ次日ニ及ヒ其夜ニ至リリリ竟ニペートル  
 スポルク及ヒリチモンドヲ去ル官兵即チ之ヲ  
 占有スリータンビールニ走リ官兵之ヲ追躡ス  
 而シテ四月九日ニ至リリリ竟ニ全軍ヲ擧テグ  
 ラントニ降ル

(卒) 將軍セルマンゴルツボロウニ於テ其兵員  
 ヲ補充シ以テジヨンストン督スル所ノ賊兵ヲ

伐タント欲ス四月六日ジヨンストンノルスカ  
 ロリナノスミスフイールドニ在リ十日ニ至リ  
 セルマンノ軍急進追撃シテグリーンスポロウ  
 ニ向フ而シテリリノ降ルヲ聞キセルマンジヨ  
 ンストント約シテ戦ヲ休メ其二十六日ヲ以テ  
 ジヨンストン竟ニ降ル

(空) 是時ニ當テセルマモントゴメリー其他ア  
 ラバマノ要地ミナ將軍ゼト、エツチ、ウイルソン  
 ニ降ル是ヨリ先キウイルソンナスビールニ在  
 リ將軍トーマス之ヲ其地ニ遣ル此時マタ將軍

タイロルモビール府ヲ守ル官兵大舉シテ之ヲ  
 抜カント欲ス將軍ケンビー北部ノ陸兵ヲ督ス  
 灣中ノ艦隊相應シテ之ヲ援ク而シテ東面ヨリ  
 之ニ向ヒ大ニスパニス城及ヒブラツケリ河  
 ニ戰フ四月十八日賊兵竟ニモビールヲ去リ後  
 チ二日ヲ經テ之ヲ將軍ケンビー及ヒ水師後部  
 代理提督タツチエルニ交付ス五月四日ニ至リ  
 ミスシツピー分營ノ舟師陸兵盡クケンビー及  
 ヒタツチエルニ降りテキサス州ブラゾスノ戰  
 ヲ以テ亂終ニ平ク五月二十六日將軍キルビー

スミス遂ニテキサスノ兵ヲ下ス

(空) 國人コノ勝報ヲ聞テ抃喜相賀ス然リ而シ  
 テ一凶事ノ起ルニ及テ哀懼交至ル何ソヤ大統  
 領リンコルンノ暗殺是ナリ四月十四日ノ黄昏  
 リンコルン演戲ヲ觀ル人アリ其頭部ヲ銃撃ス  
 リンコルン須臾ニシテ竟ニ歿ス是時ニ當テ逆  
 徒相率テ黨ヲ結ビ密ニ計テ顯官ヲ殺シ以テ政  
 府ヲ破壊セント欲ス其手カラリンコルンヲ刺  
 スモノ即チ其一人ナリ此時マタ尚書セワード  
 ヲ其第宅ニ襲ヒ重傷ヲ負ハシム而シテ不幸ニ



シテ命ヲ隕スモノ獨リリンコルンノミリンコ  
ルンハ天稟廉直ニシテ能ク難ニ堪ヘ聰明ニシ  
テ大度ナリ國人深ク之ヲ敬愛ス前古多ク其比  
ヲ見サル所ナリ蓋シ國步艱難危急存亡ノ秋ニ  
臨テ其施ス所決然動カス着々宜シキニ適ヒ以  
テ其品性ノ俊逸ナルヲ彰表シタレハナリ其葬  
儀ヲ行フヤ國人之ヲ迎テ慟哭ス且ツ永ク其事  
ヲ銘肝シテ復タ忘ル、ナク其德ヲ稱シテワシ  
ントンニ均シト為スニ至ル

(註) 副統領アンドロウ、ジヨンソン四月十五日

ヲ以テ就任ノ誓ヲ行ヒ大統領ト為ル五月二十  
九日ジヨンソン恩赦ノ告諭ヲ發シ規ニ依テ叛  
徒ノ罪ヲ赦ス但タ一二例外アルノミ又タ分離  
諸州ノ政綱ヲ復ス曩ニセツフエルソン、ダビス  
グラントノ至ルヲ聞キリチモントヲ去ル千八  
百六十五年五月十日竟ニジヨール、ダアノイル  
ビンスビルニ獲ラレモンロウ城中ニ幽セラ  
ル千八百六十六年四月ニ至ルマテ猶ホ獄ニ在  
リテ謀反ノ審判ヲ受クルヲ候ツ千八百六十六  
年ノ早春國中役奴ヲ禁スルノ一欸ヲ議定シ以

テ之ヲ國憲條中ニ追補ス此年四月二日大統領  
ジヨンソン檄ヲ發シ國亂ノ平定ヲ告ク

(蓋) 國亂ソノ局ヲ結フニ至ルマテ英佛二國毫  
モ官兵ニ向テ同感ノ意ヲ表セサルノミナラス  
密ニ其戡定ノ奏功ヲ妨害セントス當初英國局  
外中立ヲ公告ス而シテ早ニ賊兵ノ戰權ヲ認メ  
國中ノ諸港ニ於テ其補艦ヲ造艦ス英人マク快  
舟ニ乘テ竊ニ許多ノ軍需ヲ英港ニ搭載シ封鎖  
ヲ冒シテ賊地ニ入ル千八百六十一年英艦某號  
使ヲ賊地ニ遣ル米國ノ巡船途ニ之ヲ捕フ千八

百六十四年賊兵カナダニ在テバルチモトルノ  
シントアルバンスタヲ侵ス是ニ於テ英米二國將  
ニ釁ヲ生セントス然レ氏彼我幸ニ好ヲ修メ相  
和スルニ至レリ

(蓋) 上文載ス所ノモノハ唯是レ戰亂ノ梗概ヲ  
略叙スルニ過キス而シテ其連戰血ヲ流シ屍ヲ  
疊ムノ慘狀ヲ演シタルハ叛州ノ四境ヲ以テ特  
ニ酷シトス是ヨリ先キ官賊各獲ル所ノ俘囚十  
三萬余人ニ至ル後チ之ヲ交換スルニ及テ一大  
難事ヲ生ス賊兵ノ北部ニ俘ト為ルモノ待遇甚

夕厚シト雖氏南部諸州ノ監獄ニ於テ官兵ヲ待  
ツ刻薄至ラサルナシ米國叛亂史中讀ム者ヲシ  
テ為ニ戰慄ナラシム是ニ於テ都鄙ヲ論セス尚  
モ慈仁ノ心アルモノ爭テ金穀ヲ損出シ男女或  
ハ各種ノ義會ヲ興シカヲ竭シテ國ニ報ユ保安  
義會及ヒ西教義會ノ如キハ盡ク官兵ノ營寨及  
ヒ医館ニ臨テ衣食ヲ給シ看護ヲ援ク共同義會  
及ヒ各種ノ釋民義會ニ於テハ專ラ南部諸州ノ  
窮民ヲ濟フ

(美) 軍費ノ多キ國債ノ額二十八億萬弗ニ至ル

然レ氏米國政府ニ於テハ敢テ一錢ノ外債ヲ募  
ルナク國庫銀券及ヒ公債証券ヲ内國ニ發行  
ス就中北部諸州赤心國ヲ愛スルノ士悦テ之ニ  
應ス是レ讀者ノ特ニ其意ヲ注ク可キ所ナリ既  
ニシテ各地ノ銀行忽チ正貨ノ支出ヲ停止シ金  
銀ノ流通一時地ヲ掃フ因テ已ムヲ得ス千八  
百六十二年郵券通貨ヲ發行シ之ニ命スルニ各  
種小銀錢ノ名稱ヲ以テスルニ至レリ此年マタ  
本位紙幣ヲ發行シ名ケテ線背ト曰ク之ヲ印刷  
スルニ當テ其墨汁綠色ヲ用ヒタルヲ以テナリ

千八百六十三年國立銀行條例ヲ發行シ何等ノ銀行ト雖氏公債証書ヲ財務尚書ニ付託スレハ紙幣ヲ以テ其額百分ノ九十ヲ領收シ米國政府之カ出銀ヲ保証ス千八百六十四年七月金貨ノ利子其極ニ達シ金貨一弗ノ價紙幣二弗八十五仙ニ該當ス

(癸) 戰亂平定ノ日官兵ノ數一百萬ト稱ス而シテ水兵五萬一千人各種ノ戰艦七百隻ニシテ陸兵ノ總數大約二百萬其中黑人十七萬九千人アリ其戰ニ臨ミ若クハ病ニ罹テ命ヲ隕スモノ二

十萬人ニ幾シ此戰アリテヨリ軍律ヲ改メ水雷及ヒ浮壘ヲ用ヒ甲鉄艦及ヒ坭壘ヲ造ルカ如キ大ニ戰技ノ變更アリ

(癸) コノ大叛亂アリテヨリ其成績一ニシテ足ラスト雖氏日尚ホ淺フシテ未タ其如何ヲ精査スル能ハサルナリ役奴ヲ廢シテヨリ南部諸州ニ於テ世態ノ變更アリ財源豊ニシテ國カ大ニ發達シ所謂ル聯邦ノ完全ヲ保持スルノ論題ヲ決定シテ是國ノ天下ニ卓越スルヲ得タルカ如キ確然証ス可キノ實事ナリト雖氏其結局ノ得

失如何ニ至リテハ姑ク記シテ他日ノ解説ヲ侍  
ツノミ

紀元後

一六〇〇

第十七世紀

一七〇〇

第十八世紀

一八〇〇

第十九世紀

# 北亞聯邦史年表

一六〇〇	英人疆ヲビルヂニアニ開ク 蘭人ニウヨルクノ基ヲ創ス 英國ビウリタニス教徒マツサキセツヲ開創ス 英國ビウリタニス教徒ニウ、ハンズニエールニ定任ス 蘭人居アニウ、ゼルセルニ移ス 瑞人及ヒッハイラン人新疆ヲデラツルニ開ク 英人マイナラ拓ク 愛倫旧教ノ徒マリランドヲ開ク 英國ビウリタニス教徒コンチクタクツトノ基ヲ開ク ローチル、ウイリアムス英人ヲ率テ疆ヲローランドニ創ス ニウ、エンダラントノ疆民聯盟シテ共同ノ守防ヲ嚴ニス 英人ニウ、カローリナニ移住ス 蘭人ニウ、ヨロクヲ英人ニ交付ス 英人ソウス、カローリナヲ開創ス ウイリアム、ベン英國クオケルハ教徒ヲ率テベンシルバニアヲ開ク アライモ、ス、及ヒマツサキセツトノ疆ヲ聯合ス ゼルセイノ東西兩部ヲ合シテコカチルセルト名ク 將軍オグレル、英人ヲ率テジョールチアノ基ヲ開ク 巴里ノ和約 佛國ノ役畢ル カナダノ英屬タルヲ確認ス 革命ノ乱起ル 千七百八十三年事平ク 北亞聯邦獨立ノ宣布 北亞聯邦ノ國憲ヲ定ム ジョージ、ワシントン北亞聯邦ノ第一大統領ニ任ス ベルモント版圖ニ入り一州ト為ル ケントキー版圖ニ入り一州ト為ル テネシワ版圖ニ入り一州ト為ル ジョージ、ワシントン北亞聯邦ノ第一大統領ニ任ス 佛國ノ疆ヲ生ス ト、マス、ベックツエルソン北亞聯邦ノ第一大統領ニ任ス ハイオ版圖ニ入り一州ト為ル 北亞聯邦佛屬ノロイヤルナラ購フ 將軍エハルゴ北亞聯邦ノ諸港ヲ封鎖シ千八百九年ニ至リ之ヲ解ク ロイヤル、マデソン北亞聯邦ノ第四大統領ニ任ス 六月十八日英國ニ向テ開戦ヲ公告ス 十二月二十四日事平ク或ハ十四日ナランカ イムス、モントロウ北亞聯邦ノ第五大統領ニ任ス ミシシッピ版圖ニ入り一州ト為ル ハ、ハ、千八百二十一年ニミシシッピ、ハ、ハ、千八百十九年ニアラバ、マ、千八百二十年ニ 西班牙、フロリダヲ北亞聯邦ニ交付ス ジョージ、ワシントン北亞聯邦ノ第六大統領ニ任ス 海關稅則ヲ定メ輸入品ニ保護稅ヲ賦課ス ソウス、カローリナ 國法ヲ廢除スルノ令ヲ發ス モンチン、バン、ア、レ、ン北亞聯邦ノ第八大統領ニ任ス カイリ、ア、ン、エ、ツ、ナ、ハ、リ、ン北亞聯邦ノ第九大統領ニ任シ及ヒジョン、タイ、ロ、ル其第十大統領ニ任ス テキサス版圖ニ入り一州ト為ル ギ、ム、ス、ケ、ト、ポ、ー、ク北亞聯邦ノ第十一大統領ニ任ス 墨西哥ト戦ヲ開ク 千八百四十八年和成ル ニウ、メ、キ、シ、コ、及ヒカリフォルニア北亞聯邦ノ第十三大統領ニ任ス ザ、チ、ヤ、リ、ー、タ、イ、ロ、ル北亞聯邦ノ第十二大統領ニ任ス ミ、ル、リ、ア、ー、ド、ウ、イ、ル、モ、ー、ア北亞聯邦ノ第十三大統領ニ任ス フランクリン、ド、ウ、イ、ル、モ、ー、ア北亞聯邦ノ第十四大統領ニ任ス ゼ、イ、ム、ス、ア、カ、ナ、ン北亞聯邦ノ第十五大統領ニ任ス アラバマ、リ、ン、コ、北亞聯邦ノ第十六大統領ニ任ス 南部十一州分離ノ内訌隨テ生ル
------	--







# 社會改進記事年表

紀元後  
一六〇〇

第十七世紀

一七〇〇

第十六世紀

一八〇〇

第十九世紀

九六六四三三一  
五三一八九八六

英人始メテ烟草ヲビルチニアニ栽培ス  
ホワード大學校ヲマツサキセツツノケンブリッヂニ建創ス  
始メテ印刷術ヲ新疆中マツサキセツツノケンブリッヂニ行フ  
ケンブリッヂニ於テエリオット著ス所ノ土蕃經典(千六百六十四年用フル所ノ聖書)ヲ印行ス  
ケンブリッヂニ於テエリオット著ス所ノ土蕃經典(千六百六十四年用フル所ノ聖書)ヲ印行ス  
ウイリアム・エドワード・マリー 大學校ヲビルチニアノウイリアムスボルグニ開創ス  
作米ノ法ヲソウスカロリアニ傳入ス  
新疆ノ人口大約二十六萬ニ至ル  
ヤール大學校ヲ設ク大學校ヲ新疆ニ開ク之ヲ第三回トス

米國初刊ノ新聞(ボストン)ニウスレク號ヲ發行ス  
始メテ米國郵信局ヲニウヨークニ設ク  
始メテヒラデルヒア新聞ヲ刊行ス  
ニウエンクラントニ於テ茶ノ飲用ヲ發ク  
創メテニウヨーク新聞ヲ刊行ス  
初メテ米國交義會堂ヲボストンニ設ク  
ニウゼルセル 大學校ヲ開創ス  
疆中ノ白哲人口百四萬六千ニ至ル  
創メテ新疆ノ醫學校ヲヒラデルヒアニ開ク  
米國哲學協會ヲヒラデルヒアニ設置ス  
初メボストンニ街燈ヲ設ク  
疆民ノ總數大約二百六十萬ニ至ル  
疆中新聞紙ノ數三十七種ニ至ル  
米國學藝學校ヲボストンニ設ク  
米國初立ノ銀行(バンク)オスノルヌ、アメリカノ設ク  
ニウゼルセルノボルトツモリスニ於テ始メテ米國七十四砲門ノ兵艦ヲ造ル  
北亞聯邦初任ノ牧師(シイ)ボリヲ祝聖ス  
米艦始メテニウヨークヲ發シ支那ニ航行ス  
北亞聯邦旧教初任ノ牧師(カール)ホルツニ祝聖ス  
始メテ北亞聯邦ノ民籍表ヲ查製ス人口三百九十二萬九千三百二十六人  
是國マツサキセツツノウオールセルニ於テ始メテ紙四片製ノ聖書ヲ印行  
國立造幣局ヲヒラデルヒアニ設ク  
イ・ボワイト子 清綿機ヲ創造ス後チ幾モナク綿花ヲ以テ重要ノ物産ト爲スニ至ル  
始メテマツサキセツツニ於テ監閱會社ヲ設立ス  
トランシルバニア大學校ヲ設クアルカニ(ス)河西ニ於テ大學校ヲ立ツル之ヲ以テ權輿ト爲ス  
國中新聞紙ノ數二百餘種ヲ發行ス  
始メテ棉羊ヲ輸入ス  
ミドルセキス運河竣工ス是國運河ノ大ナルモノ之ヲ以テ高矢ト爲ス  
初メテ氣船ヲホドソン河ニ泛用ス  
アンドベル 神學校ヲ創立ス  
國中新聞紙ノ數三百五十九種ニ至ル  
初メテ瀛船ヲニスシッピ一及ヒオハイオノ二流ニ泛フ後チ幾モナク氣船ノ駛航廣ク行ハル  
米國教育會ヲ設立ス  
米國聖書會ヲ設立ス  
米國運河成ル  
米國禁酒會ヲ設立ス  
オハイオ運河成ル

九九九九九九八八八八八七七七六六四四三三二二一一  
八六四一一〇〇四四二一〇五五四九四九六三五〇九〇四

四三 三三二二一一  
六九 四二六五六五一〇八七四二一

コロンビア運道竣工ス而シテ千八百三十五年ニ至リボストン、ローウル間線路ボストン、プロビデンス間線路ボストン、ウオールス  
ト、中間線路及ヒチエサピ、キ、オハイオ間線路相踵テ竣工ス後チ幾モナク更ニ教條、鐵道線路成ル  
國中新聞紙其他定時刊行ノ新報總計千五百五十五種ニ至ル  
初メテ電信機ヲ用ヒ以テ消息ヲ通ス

米國名士表

紀元後

政事家及法學士

武人及雄將

名僧

雜類

一六〇〇

第十七世紀

一七〇〇

第十六世紀

一八〇〇

第十五世紀

Table with 4 columns (紀元後, 政事家及法學士, 武人及雄將, 名僧, 雜類) and 4 rows (一六〇〇, 第十七世紀, 一七〇〇, 第十六世紀, 一八〇〇, 第十五世紀). Each cell contains names and numbers.

# 北亞聯邦人口表 即チ第八回公布ノ民籍表ニ據ル

州名	一七九〇年	一八八〇年	一八一〇年	一八二〇年	一八三〇年	一八四〇年	一八五〇年	一八六〇年
ニウハンプシャー	一四一、八九九	一八三、七六二	二一四、三六〇	二四四、一六一	二六九、三二八	二八四、五七四	三一七、九七六	三二六、二七二
マサチューセッツ	三七八、七二七	四二二、二四五	四七二、〇四〇	五二二、二八七	六〇〇、四〇八	七三七、六九九	九九四、九一四	一、二三一、〇六五
コネチガット	六九、一一〇	六九、一一二	七二、〇三一	八三、〇五九	九七、一九九	一〇八、八三〇	一四七、五四五	一七四、六一一
ペンシルバニア	二三八、一四一	二五、〇〇二	二六、二〇二	二七、五二〇	二九、七六五	三〇、九七八	三二、八八二	三三、八八二
デラウェア	三四〇、一二〇	五八、七五六	九五、九九九	一三七、二八一	一九、八六〇	二四、八九二	二九、七三九	三三、八八二
メリーランド	一八四、一三九	二二、九九九	二四、九五五	二七、七五五	三二、〇八三	三七、三〇六	四八、九五五	五二、〇七〇
バージニア	四三、四三三	六〇、二六五	八一、〇九一	一〇、四九五	一三、四八八	一七、二四三	二一、一七六	二四、〇七〇
ノースカロライナ	五九、〇九八	六四、二七三	七二、六七四	七二、七四九	七六、七四八	七八、〇八五	九一、五三二	一一、二二八
サウスカロライナ	三一、九七八	三二、一五八	三八、〇五八	四〇、七三三	四四、七〇四	四七、〇一九	五八、三三三	六八、七三三
ジョージア	七四、八三〇	八八、〇二〇	九七、四六二	一〇、六五三	一一、四〇五	一二、一四〇	一四、二六六	一五、九六〇
フロリダ	三九、三七五	四七、八一〇	五五、五〇〇	六三、八八九	七三、七九八	七五、三四一	八六、〇三九	九九、二六六
アラバマ	二四、九〇七	三三、五五九	四一、五七一	五〇、二七四	五八、一八五	六九、一三九	七六、八五〇	八二、三二九
ミシシッピ	八二、五四八	一六、二〇一	二五、四三三	三三、〇九八	三八、〇六五	四二、一九四	五〇、六一八	五七、三二九
ルイジアナ	一五、四一六	二二、四六五	四一、五七一	五二、七六四	六八、七九一	七九、八二八	九二、四〇五	一一、五七三
テキサス	七三、〇七二	二二、九五五	四〇、六五一	五二、七六四	六八、七九一	七九、八二八	九二、四〇五	一一、五七三
オハイオ	三〇、七九一	一〇、五六〇	二六、一七二	四二、二八一	六八、一九〇	八二、九二〇	九九、二六六	一一、五七三
インディアナ	四八、七五〇	八八、七五〇	一〇、七六〇	一五、三三四	二二、五七三	三三、〇三二	四二、四〇五	五二、〇七〇
イリノイ	九六、五四〇	一五、七二九	二二、八四五	二九、九三五	三九、九三五	五〇、一七三	五九、〇七五	六八、二七六
ミズーリ	一八、二一〇	二二、八四五	二〇、八四五	二九、九三五	三九、九三五	五〇、一七三	五九、〇七五	六八、二七六
ミネソタ	一八、二一〇	二二、八四五	二〇、八四五	二九、九三五	三九、九三五	五〇、一七三	五九、〇七五	六八、二七六
ウィスコンシン	一八、二一〇	二二、八四五	二〇、八四五	二九、九三五	三九、九三五	五〇、一七三	五九、〇七五	六八、二七六
アイオワ	一八、二一〇	二二、八四五	二〇、八四五	二九、九三五	三九、九三五	五〇、一七三	五九、〇七五	六八、二七六
カリフォルニア	一八、二一〇	二二、八四五	二〇、八四五	二九、九三五	三九、九三五	五〇、一七三	五九、〇七五	六八、二七六
ネバダ	一八、二一〇	二二、八四五	二〇、八四五	二九、九三五	三九、九三五	五〇、一七三	五九、〇七五	六八、二七六
コロロニア地方	一八、二一〇	二二、八四五	二〇、八四五	二九、九三五	三九、九三五	五〇、一七三	五九、〇七五	六八、二七六
封域	一八、二一〇	二二、八四五	二〇、八四五	二九、九三五	三九、九三五	五〇、一七三	五九、〇七五	六八、二七六
合計	三九二、九八二	五、三〇、五九二	七、二二、九八一	九、六三、八三一	一、三、八六、九〇二	一、七、〇六、三三三	二、三、二六、三四八	三、一、四四、三九九

# 北亞聯邦奴數表

州名	一七九〇年	一八〇〇年	一八一〇年	一八二〇年	一八三〇年	一八四〇年	一八五〇年	一八六〇年
マイン	一五八〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇
ニウハンプシール	一五八〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇
ベルモント	一五八〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇
マサチューセッツ	九五二〇	八三二〇	一〇〇三〇	九七〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇
ロイドイランド	二七五九	九五一	三二〇	四八	七五	一七	〇〇	〇〇
コネチクット	二二三四	二〇三四三	一五〇一七	一〇〇八八	七五	六四	〇〇	〇〇
ニウヨーク	二二三四	二〇三四三	一五〇一七	一〇〇八八	七五	六四	〇〇	〇〇
ペンシルバニア	三三三七	一七〇六	七九五	二二	四〇三	六四	〇〇	〇〇
デラウェア	八八八七	六一五三	四一七	四〇九	三二九	二六〇	九〇	二七九
マリランド	一〇三〇三六	一〇五六三五	一一一五〇二	一〇七三九八	一〇二二九四	九七三三七	九〇三六八	八七二五八
ビルヂニア	二〇三四二七	三四五七九六	三九二五七八	四二五二五三	四六九七五七	四八八八七	四七二五二八	四八八八七
ノルスカロリナ	一〇〇五七二	一三三二九六	一六八八二四	二九五二一七	二三五六〇一	二四八八七	二八八五八	三三〇一八
ソウスカロリナ	一〇七〇九四	一四六一五一	一九六三六五	二五八四七五	三二五〇四一	三二七〇三八	三二八〇三八	三三〇一八
ゼオルヂア	二九二六四	五九四〇四	一〇五二一八	一四九六五六	二二七五三	二八〇九四	三三三〇	四六二二二
フロリダ								
アラバマ								
ミスシッピ		三四八九	一七〇八八	四一八七九	一五五〇一	二五七七一	三四二八四	四三二二二
シツクリ			三四六六〇	三二八二四	一七五四九	二五三三三	三〇九八七	四三二二二
アルカンサス			三〇一一	六九〇六四	一〇九五八	一六八四五	二四四八	三三二〇一
テネシッ	三四一七	一三五八四	四四三三五	八〇五六一	一四一〇七	一八三九五	二二〇九八	二七五七四
ケンタッキー	一一八三〇	四〇三四三	八〇五六一	一二六七三	一六五二二	一八三三五	二二〇九八	二七五七四
テキサス								
オハイオ								
インディアナ		一三五	二二七	一九〇	七四七	三三一	〇〇	〇〇
イリノイ			一六八	一一七	三二	〇	〇	〇
ミシガン			二四	二七	〇	〇	〇	〇
ワイソコンシン								
イオワ								
コロンビア地方								
合計	六九七八九七	八九三三四一	一一九一三六四	一五三八〇六四	二〇〇九〇三二	二四八七三五五	三二〇四二九六	三九五三五二四

千八百六十六年ニ至リ全國役奴ヲ廢ス

民籍表及ヒ奴數表解説

各州ノ人口及ヒ奴數ハ第八回公布ノ民籍表ニ據レハ前頁ニ表ニ於テ明示スル所ノ如シ  
コノ民籍表ハ未タ必スシモ謬誤ナキヲ保ス可  
カラス千八百四十年發行ノ民籍表ヲ按スルニ  
ニウ、ハンプリエールロード、イストランドコン子  
クチクツトニウ、ヨークニウ、ゼルセーペンシル  
バニアオハイオインディアナ及ヒイルリノイス  
ノ諸州ニ於テハ法律ヲ以テ已ニ役奴ヲ禁シタ  
リト雖モ其實ニ至テハ未タ全ク其跡ヲ絶テタ

ルニアラス且ツニウゼルセーノ如キハ千八百  
四十六年四月十八日州廳廢奴令ヲ發行スルモ  
猶ホ徒弟ノ名ヲ以テ黑人ヲ役スルアリ  
表中初記ノ十三州ハ北亞聯邦國憲制定ノ時已  
ニ存立セルモノナリ自餘ノ諸州ハ其ノ版圖ニ  
入リタル順序ヲ以テ之ヲ列叙ス  
當初マインハマツサキセツツ州ノ一部タリシ  
カ千八百二十年ニ至リ入圖シテ終ニ獨立ノ一  
州ト為ル  
國中人口ノ繁殖セル之ヲ民籍表ニ徵スルニ千

七百九十年ヨリ千八百六十年ニ至ルマテ（意即チ七  
十年間其初メ未タ四百萬ニ滿タサルモノ漸ク加  
ハリテ三千一百萬餘ノ多ニ至レリ  
奴隸ノ員數ハ當初七十萬ヲ下リタルモ終ニ三  
百九十五萬ノ多キニ至ル  
千七百九十年以降大約二十四年間ニ於テ國中  
ノ人口忽チ二倍ニ達セリ

郵信局

千七百九十年國中郵信局ノ數七十五アリ千八

百十年ニハ二千三百千八百三十年ニハ八千四百五十千八百四十年ニハ一萬三千四百六十八千八百五十年ニハ一萬八千四百七十七千八百六十年ニハ二萬八千四百九十八アルニ至レリ

### 鐵道

北亞聯邦ニ於テ始メテ著大ノ鐵道ヲ造リ以テ過客交通ノ便ヲ開キタルハ實ニ千八百三十四年及ヒ千八百三十五年ニ在リ千八百四十九年ニ至リ開業鐵道ノ線長六千英里余ニシテ千八百五十九年ニ及テ其哩數二萬七千余ニ達セリ

### 學校

大學校 千六百三十八年大學校ヲケンブリツ  
チニ開創ス是ヲ新疆中大學ヲ興スノ權輿トス  
千七百年ニ至リ其數三アリ千八百年國中ノ校  
數二十六ニシテ千八百六十年百二十校アルニ  
至レリ  
醫學校 千八百年國中醫學校ノ總數三アリ千  
八百六十年其數四十二至ル  
神學校及ヒ法學校 闔國神學校ノ興リタルハ  
概子四十年來ニシテ法學校ノ開創ハ更ニ近設

ニ係ルモノナリ  
千八百六十年神學校ノ數五十二シテ法學校十  
九アリ

西史要卷七終